

令和6年度

海遊

(活動の記録)

第25号



「三方海域公園スノーケリング 烏辺島」 ・ 「海の森で生きものを探してみよう」
「冬の生きもの観察会ver.クラゲ」 ・ 「ハクチョウの塘（ねぐら）立ちを観察会」

福井県海浜自然センター

目 次

I 福井県海浜自然センターの概要	1
II 展示事業	3
1 常設展・企画展 (1)常設展 (2)企画展	
2 入館者数 (1)月別入館者数 (2)年度別入館者数	
III 指導普及事業・指導者養成事業	10
1 普及誌の編集・発行	
2 インターネット等による情報発信	
3 自然体験講座の開催 (1)主催講座 (2)団体向け講座 (3)個人向け講座	
4 指導者の養成 (1)ナチュラリスト (2)指導者養成講座	
IV 特別企画・ミニイベント	15
1 特別企画 (25周年記念事業) (1)海の日イベント (2)くらべてみよう 三方五湖のさかなたち	
2 ミニイベント (1)クリスマス (2)冬 (3)節分	
V 調査研究事業	18
1 食見地区周辺海域調査	
2 三方五湖周辺における自然保護活動	
3 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	
VI その他	19
1 運営会議の開催	
VII 資料	20
1-1 団体向け講座 団体・講座一覧	
1-2 3Dシアターと館内見学 団体一覧	
1-3 出張講座 団体・講座一覧	
2 食見地区周辺海域調査	
3 三方五湖周辺における自然保護活動	
4 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	
5 夏期の車ナンバー調査	

I 福井県海浜自然センターの概要

福井県の嶺南地域沿岸は、リアス式海岸の美しい風景が広がる若狭湾国定公園となっております。なかでも、若狭町の常神半島から黒崎半島に囲まれた世久見湾は、特に海中景観が美しく、生物相も豊かなことから、昭和46年に本県唯一の海域公園（三方海域公園）として、4箇所30.2haが指定されました。（指定当時は海中公園でしたが、平成22年4月の自然公園法改正により海中公園は海域公園と改められました。）

福井県海浜自然センター（以下センター）と隣接公園施設を含む地域（若狭三方マリパーク）は、これらの恵まれた自然環境と人が共生するやすらぎある県民生活の実現に向け、本県の豊かな海の自然を学び体験していただくための施設・公園として、平成11年7月20日（海の日）にオープンしました。

また、平成17年には、三方五湖がラムサール条約湿地に登録されたことにより、従来の若狭の海を中心とした展示に加え、三方五湖の自然環境や自然再生活動を紹介するなど、三方五湖のビジターセンターとしての役割を担ってきました。平成26年4月には「うみ（海湖）のビジターセンター」としてリニューアルオープンし、嶺南地域の自然環境保全の重要性を紹介するとともに、学ぶ普及啓発施設として皆様にご利用いただくことを目的に運営しています。



国道側から見た海浜自然センター



海側から見た海浜自然センター

【施設】

所在地	福井県三方上中郡若狭町世久見18-2（食見海岸）	
建物	鉄筋コンクリート2階建	
敷地面積	5,472㎡	
延床面積	2,197.65㎡	
駐車場	マリパーク全体約270台（うち海浜自然センター専用41台）	
整備費	①平成11年オープン	約17億5千万円
整備費	②平成26年リニューアル	約3億8千万円

【1階】 エントランスホール、体験学習室1・2、屋外水槽、
スノーケル準備スペース、会議室、事務室、機械室 等

【2階】 三方五湖の自然展示スペース、若狭湾の自然展示スペース、
マリンホール、企画展示室、キッズルーム 等

【展 示】

若狭の海で見られる魚たちにエサを与えることができる「ふしぎな水そう」をはじめ、若狭湾の生き物水槽（19）、三方五湖の生き物や環境保全活動を紹介する水槽（15）、ドクターフィッシュ水槽（1）、全35の水槽でうみ（海湖）の生き物を紹介しています。

また、海の漂流物を紹介するビーチコーミングや若狭のうみ（海湖）に飛来する代表的な海ワシの剥製、バードカービング、空から見る若狭湾、その他（海の幸を獲る定置網、海の幸を送る鯖街道と籠の模型、バインダー解説、近隣施設と観光情報のご案内、魚眼レンズ体験）等の展示の他、3Dシアター（「若狭の海」、「若狭の風を感じて」）によって、うみ（海湖）への興味・関心を高め、理解を深めることができます。

【事 業】

センター周辺の海をフィールドとしたスノーケリングや磯の生き物観察、ラムサール条約登録湿地の三方五湖をフィールドとした野鳥観察や魚類の観察など、海や湖の自然とふれあいながら体験学習ができる各種講座を開催しています。

また、平成26年度のリニューアルオープン以来、家族や友人などと来館される方が、事前予約なしで自然体験講座を受講できる個人向け講座を開始しました。

（講座の詳細や参加者数は III 指導普及事業・指導者養成事業を参照）

II 展示事業

1 常設展・企画展

(1) 常設展

【1階】

○ふしぎな水そう

高さ3mの大型の真空水槽に若狭湾の海で見られる魚たちを展示しています。R6.2月に水槽リニューアルして透明度がアップしました。穴が開いているのに水があふれない不思議な小窓からは、魚にエサやり体験ができます。

○若狭路のおいしい生きものたち

若狭湾では様々な方法でおいしい海の幸が漁獲されています。このエリアでは、若狭路特産の代表的な生き物を展示しています。

○福井の海にタッチしよう

福井県の形をしたタッチプールでは、若狭湾の磯の生き物たちに直接触れたり、エサを与えたりできます。

○ビーチコーミング

若狭湾に流れついた、珍しい漂着物を展示しています。漂着物を集める活動をとおして、自然環境を保全する意識の高揚を目指します。

○屋外水そう

館内への搬入が困難な大型生物を一時的に展示したり、季節に応じた海の生き物を展示したりしています。



ふしぎな水槽



福井の海にタッチしよう



ビーチコーミング

【2階】

○三方五湖とその周辺の生きものたち

ラムサール条約登録湿地に指定された三方五湖の生態系の特徴を、展示水槽とグラフィックで紹介しています。

- | | |
|------------------------|----------------|
| ①ラムサール登録と固有な魚 | ②田んぼや水路の生きもの |
| ③三方湖の生きもの | ④水月湖・菅湖の生きもの |
| ⑤久々子湖の生きもの | |
| ⑥湖の生態系に重要な役割を果たすエビのなかま | |
| ⑦身近な水辺の生きもの | ⑧湖の生態系を破壊する侵入者 |

○若狭湾の生きものたち

岸辺近くの身近な海にも、多様な姿形や生態をもつ生き物がすんでいます。若狭湾の多様な生き物を展示水槽とグラフィックで紹介しています。

- ①若狭湾を彩る小さな生き物
- ②生きるための適応
- ③若狭湾の危険な生きもの
- ④豊かな生態系を育む海草アマモ
- ⑤海中の浮遊者クラゲ
- ⑥オサガメの剥製

○海の幸を獲る定置網/海の幸を送る鯖街道

若狭湾で盛んな定置網漁と、京都に海産物などを届けた街道（鯖街道）について紹介しています。

○空から見る若狭湾

リアス式海岸に浮かぶ島々の解説から、若狭湾の地形について知ることができます。

○野鳥の歓迎

エントランスホール上には、三方五湖周辺で見られる大きな野鳥(オオワシ・オジロワシ・ミサゴ・コウノトリ・コハクチョウ)の実物大飛翔模型が展示されています。

○三方五湖の生態系の頂点 海ワシ

三方五湖に越冬のために飛来する、日本最大の猛禽類であるオオワシとオジロワシの剥製を展示しています。その迫力は、一見の価値があります。

○マリンホール

三方海域公園の自然や若狭湾の景観を、立体ハイビジョン映像で紹介する3Dシアターです。美しい若狭湾の空中景観や海中景観、そこに生息する生き物のくらしを疑似体験できます。また幕間にはクラゲや若狭湾の映像が流れ、ゆったりとくつろげます。

○ドクターフィッシュ水そう/魚眼レンズ

ドクターフィッシュ水そうで、自分の手をお掃除します。また、窓から目の前に広がる世久見湾の雄大な景色を遠くまで眺めることができます。

○キッズルーム

小さなお子様が、ぬり絵や折り紙を楽しんだり、海の自然に関する絵本などを閲覧したりできます。また、海のライブラリー奥には、授乳やおむつ交換ができるベビールームもあります。

○その他

- ・魚眼レンズでお魚気分
魚が見る景色を疑似体験できます。
- ・情報掲示板
主催講座の紹介ポスターなどを掲示しています。



三方五湖とその周辺の生きもの



若狭湾の生きものたち



魚眼レンズ

(2) 企画展

期間	企画名	内容
4月 1日～ 5月 7日	若狭高等学校海洋科学科研究発表展	海洋科学科の生徒が取り組んだ研究発表をまとめたパネル展
		
5月 10日～ 5月 19日	愛鳥週間 ポスターコンクール 入賞作品展	愛鳥週間ポスターコンクールで入賞した作品の展示
5月 25日～ 7月 10日	「びっくり 海藻の不思議展」	海藻の種類、生息地など海藻について紹介したパネル展
		
7月 20日～ 8月 19日	25周年記念事業「三方海域公園活動記録展」 第1弾 「スノーケル調査で三方海域公園の魚類相の変化を見る&福井のウミガメ」	三方海域公園における魚類相の変化やウミガメに関する写真展
		

8月20日～9月23日	第2弾「海浜自然センター付近で見つかった珍しい生きものの写真展」	センター付近で見つかった珍しい生きものの写真展
-------------	----------------------------------	-------------------------



9月28日～10月27日	昔の水辺の風景絵画展	美浜町、若狭町の小学生が、描いた昔の水辺の風景画展
--------------	------------	---------------------------



期間	企画名	内容
11月1日～12月22日	野鳥写真展「私のお勧め 福井の野鳥」	日本野鳥の会福井県会員が撮影した野鳥たちの写真展



1月3日～2月24日

ほのぼの絵画作品展

若狭町、小浜市の保育園園児による
作品展



2月26日～3月19日

くらべてみよう 三方五湖のさかなたち

三方五湖に棲む魚や両生類、水生
昆虫を紹介したパネル展



2 入館者数

(1) 月別入館者数

月	令和5年度 入館者数(人)	令和6年度 入館者数(人)	対前年比 (%)	令和6年度 累計(人)
4月	8,244	9,623	116.7%	9,623
5月	12,952	12,191	94.1%	21,814
6月	9,479	10,425	109.9%	32,239
7月	16,382	17,575	107.2%	49,814
8月	19,994	21,242	106.2%	71,056
9月	10,128	11,849	116.9%	82,905
10月	9,816	9,418	95.9%	92,323
11月	7,092	8,200	115.6%	100,523
12月	4,386	4,874	111.1%	105,397
1月	4,168	5,464	131.0%	110,861
2月	4,106	3,763	91.6%	114,624
3月	8,965	8,809	98.2%	123,433
計	115,712	123,433	106.6%	123,433

入館者数	123,433人
主催講座参加者数(P10~13参照)	644人
出張講座参加者数(P14参照)	897人

令和6年度総利用者数 124,974人

(令和元年度総利用者数 137,287人)

(1) 年度別入館者数

年 度	入館者数 (人)	対前年比 (%)	累計入館者数 (人)
平成 11 年度	65,293		65,293
平成 12 年度	97,705	149.6%	162,998
平成 13 年度	89,327	91.4%	252,325
平成 14 年度	86,080	96.4%	338,405
平成 15 年度	82,831	96.2%	421,236
平成 16 年度	80,494	97.2%	501,730
平成 17 年度	92,393	114.8%	594,123
平成 18 年度	83,997	90.9%	678,120
平成 19 年度	76,138	90.6%	754,258
平成 20 年度	75,653	99.4%	829,911
平成 21 年度	79,050	104.5%	908,961
平成 22 年度	74,313	94.0%	983,274
平成 23 年度	74,564	100.3%	1,057,838
平成 24 年度	63,480	85.1%	1,121,318
平成 25 年度	41,013	64.6%	1,162,331
平成 26 年度	117,340	286.1%	1,279,671
平成 27 年度	122,329	104.3%	1,402,000
平成 28 年度	118,849	97.2%	1,520,849
平成 29 年度	118,105	99.4%	1,638,954
平成 30 年度	132,779	112.4%	1,771,733
令和元年度	129,064	97.2%	1,900,797
令和 2 年度	104,614	81.1%	2,005,411
令和 3 年度	93,669	89.5%	2,099,080
令和 4 年度	129,184	137.9%	2,228,264
令和 5 年度	115,712	89.5%	2,343,976
令和 6 年度	123,433	106.6%	2,467,409

※平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月 リニューアル工事のため閉館

※令和 2 年 4 月 4 日～5 月 18 日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和 3 年 8 月 14 日～8 月 24 日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和 3 年 11 月～令和 4 年 2 月 空調設備改修工事のため閉館

※令和 6 年 1 月 29 日 ～令和 6 年 2 月 16 日 ふしぎな水槽入替え工事のため閉館

Ⅲ 指導普及事業・指導者養成事業

1 インターネット等による情報発信

- ① ナチュラリスト登録者の希望者にタイムリーな海の自然情報「メールマガジン“なのりそ”の海」を、毎月発信しました。
- ② ホームページをリニューアルしました。スマートフォンに対応し、より閲覧しやすくなりました。
ホームページの内容を充実し、行事案内等の情報を発信しました。
《発信情報》 主催・個人講座やイベントの案内、開催レポート
展示生物の紹介等
- ③ InstagramなどのSNSを活用し、普段見ることができない魚の様子や海の様子などを発信しました。

2 自然体験講座の開催

(1) 主催講座

自然とのふれあいや観察をとおして、自然保護意識の向上を図るため、海と三方五湖の自然をテーマに各種講座と観察会を実施しました。

① スノーケリング自然教室 【実施：14 中止：3 参加者：98】

テーマ	期 日	場 所	講 師	人数
みんなで環境美化！三方海域公園クリーンアップ	4月 21日（日）	食見海岸	センター職員	中止
経験者におすすめ！三方海域公園スノーケリングを楽しもう	7月 6日（土）	烏辺島	ナチュラリストリーダー、センター職員	7
初心者におすすめ！スノーケリングをマスターしよう	7月 21日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	11
平日開催スノーケリング初心者コース	7月 23日（火）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	5
経験者におすすめ！食見海岸を探検しよう	7月 28日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	8
平日開催スノーケリング初心者コース	8月 2日（金）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	5
初心者におすすめ！スノーケリングをマスターしよう	8月 4日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	11
平日開催スノーケリング初心者コース	8月 6日（火）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	5
平日開催スノーケリング初心者コース	8月 9日（金）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	7
初心者におすすめ！スノーケリングをマスターしよう	8月 18日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	10
平日開催スノーケリング初心者コース	8月 20日（火）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	2
初心者におすすめ！スノーケリングをマスターしよう	8月 24日（土）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	8
初心者におすすめ！スノーケリングをマスターしよう	8月 25日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	4
経験者おすすめ！三方海域公園スノーケリングを楽しもう	8月 31日（土）	常神	ナチュラリストリーダー、センター職員	中止
経験者におすすめ！食見海岸を探検しよう	9月 1日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	中止
経験者おすすめ！三方海域公園スノーケリングを楽しもう	9月 7日（土）	常神	ナチュラリストリーダー、センター職員	10
みんなで環境美化！三方海域公園クリーンアップ	9月 14日（日）	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	5
計				98

② 海のふれあい教室 【実施：23 中止：4 参加者：396名】

海辺の自然とふれあい、学ぶ各種の講座を実施しました。

テーマ	期 日	場 所	講 師	人数
早めに自由研究スタート！ ①貝殻を探してみよう	4月13日(土)	坂尻海岸、坂尻多目的センター	林 重雄 (漂着物学会)	24
早めに自由研究スタート！ ②貝殻標本を作ってみよう	4月13日(土)	センター	林 重雄 (漂着物学会)	24
春の砂浜で生きものを探してみよう	4月14日(日)	小浜市西津浜	富永 修 (福井県立大学教授)	18
海の森のかくれんぼ名人たちを探してみよう	4月20日(土)	食見海岸、センター	渡邊 幸太 (一般社団法人うみから)	23
プランクトンの世界をのぞいてみよう	5月 5日(日)	食見海岸・センター	近藤 竜二 (福井県立大学教授)	22
春の砂浜で生きものを探してみよう	5月 6日(月)	高浜町和田浜	富永 修 (福井県立大学教授)	15
早めに自由研究スタート 自由研究のヒント③未来の海のために海ゴミ調査にチャレンジしよう	5月11日(土)	食見海岸、センター	西野 ひかる (アノミアーナ代表)	17
海の森のかくれんぼ名人たちを探してみよう	5月12日(日)	食見海岸、センター	渡邊 幸太 (一般社団法人うみから)	14
早めに自由研究スタート！ ④海藻採集と標本作り	5月19日(日) 午前・午後	食見海岸・センター	吉川 伸哉 (福井県立大学教授)	21
早めに自由研究スタート！ ⑤世界の海は海藻であふれている！多様な海藻について知ろう！	6月 1日(土)	食見海岸・センター	神谷 充伸 (東京海洋大学教授)	10
磯で生きものを探してみよう	7月 7日(日)	食見海岸・センター	センター職員	19
夏休みの自由研究 海浜植物採集と標本作り	7月20日(土) 午前・午後	食見海岸・センター	早坂 英介 (理学博士)	16
夏の砂浜で生きものを探してみよう	7月27日(土)	センター	富永 修 (福井県立大学教授)	12
夏休みの自由工作 ビーチクラフトをやってみよう！	8月 1日(木)	センター	センター職員	21
磯で生きものを探してみよう	8月 3日(土)	食見海岸・センター	センター職員	24
磯で生きものを探してみよう	8月 8日(木)	食見海岸・センター	センター職員	23
初心者におすすめ！ 海釣りをやってみよう	9月29日(日)	食見海岸・センター	松田 光正 (県釣りインストラクター連絡機構)	23
秋の砂浜で生きものを探してみよう	10月12日(土)	小浜市西津浜	富永 修 (福井県立大学教授)	9
初心者におすすめ！ 海釣りをやってみよう	10月19日(土)	食見海岸・センター	松田 光正 (県釣りインストラクター連絡機構)	中止
イカの体のしくみを知っておいしく食べよう！	10月26日(土)	センター	センター職員	15
魚を調理しておいしく食べよう	11月 2日(土)	センター	子末 とし子 (大島漁業協同組合女性部長)	中止
海の宝物を調べよう！ ビーチコーミング	11月30日(土)	食見海岸	林 重雄 (漂着物学会)	15
漂流物アートに挑戦しよう！	11月30日(土)	センター	林 重雄 (漂着物学会)	12
じゃこ天を作ってみよう！	12月 8日(日)	センター	子末 とし子 (大島漁業協同組合女性部長)	11
冬の生きもの観察会 ver.クラゲ	1月19日(日)	センター	小島 貞昭 (アトウーラ代表)	8
漁業に挑戦しよう！②若狭かき	2月 8日(土)	小浜市仏谷	富永 修 (福井県立大学教授) センター職員	中止
海藻染めにチャレンジしよう！	2月22日(土)	センター	柴田 叔子 (一般社団法人うみから)	中止
計				396

③ 三方五湖自然教室 【実施：10 中止：2 参加者：116名】

三方五湖の自然にふれあい、学ぶ講座を実施しました。

テーマ	期 日	場 所	講 師	人数
バードウォッチング 超早起きは10文の得探鳥会	5月18日(土)	小浜市上根来	日本野鳥の会福井県嶺南 ブロック、センター職員	8
はず川の魚を観察しよう	6月2日(日)	若狭町はず川落合橋	上西 実 (龍谷大学非常 勤講師) ハスプロ会員 センター職員	18
田んぼで魚の赤ちゃんをつかまえ よう	6月30日(日)	若狭町鳥浜の水田	富永 修 (福井県立大学教授) センター職員	中止
海水が流れこむ湖 久々子湖でシジミ漁に挑戦しよう	9月28日(土)	久々子湖周辺	田辺 義郎 (ラ・しじみ代表)	16
三方湖でくらす生きものを観察し よう	10月13日(日)	三方湖周辺	富永 修 (福井県立大学教授) センター職員	14
サケの遡上を観察しよう	11月9日(土)	若狭町はず川	センター職員	10
身近にひそむ生きた芸術 珪藻を観察しよう	11月16日(土)	センター	佐藤 晋也 (福井県立大学教授)	5
バードウォッチング ビギナーの ための探鳥会 in 三方湖	11月23日(土)	三方湖周辺 里山里海湖研究所	日本野鳥の会福井県嶺南 ブロック、センター職員	5
伝統漁業に挑戦しよう!②たたき 網	12月9日(土)	三方湖周辺 里山里海湖研究所	田辺 喜代春 (鳥浜漁業協 同組合組合長)	中止
バードウォッチング カモウォッ チング in 久々子湖	1月18日(土)	久々子湖 美浜町レイクセンター	日本野鳥の会福井県嶺南 ブロック、センター職員	15
バードウォッチング 三方五湖オ ジロワシとハクチョウ	2月2日(日)	三方湖、若狭町藤井、 鳥浜 里山里海湖研究所	日本野鳥の会福井県嶺南 ブロック、センター職員	18
バードウォッチング ハクチョウ の罫(ねぐら)立ち観察会	2月9日(日)	菅湖、若狭町藤井	日本野鳥の会福井県嶺南 ブロック、センター職員	7
計				116

④ 他施設との連携企画

若狭地区の8施設が連携して体験プログラムを実施

内 容	期 日	場 所	講 師	人数
若狭地区近隣施設連携事業 わくわく 体験塾	9月21日(土) ~23日(月)	海浜自然センター ほか	各施設職員、センター職員	22

《連携施設》

- ・ 福井県立若狭歴史博物館
- ・ 福井県海浜自然センター
- ・ 福井県年縞博物館
- ・ 国立若狭湾青少年自然の家
- ・ 福井県立三方青年の家
- ・ 福井県里山里海湖研究所
- ・ 若狭三方縄文博物館
- ・ 園芸ラボ

(2) 団体向け講座

自然保護の普及啓発と青少年の健全な育成を図るため、団体向けに各種講座を開催しました。（詳細は資料1 - 1）

内 容	団体数 (延べ)	人数 (延べ)
スノーケリング	1	4
ウエット磯観察	4	112
磯の生き物観察	5	138
プランクトン観察	3	106
ビーチクラフト	4	113
海釣り	0	0
海の生き物や環境の話	17	442
人工イクラ作り	4	175
海の万華鏡作り	0	0
絵付け体験	0	0
おさかなキーホルダー作り	1	18
チリメンモンスターを探せ	2	57
イカや魚の解剖試食	2	28
クイズラリー	28	1111
ととばっぐ	3	91
ビーチコーミング	2	106
えさやり	13	244
合 計	89	2,745

○3Dシアターと館内見学

自然体験活動の一環として、団体向けにセンターの展示物等を活用することで、自然保護の普及啓発を行いました。（詳細は資料1 - 2）

内 容	団体数	人数
3Dシアターと館内見学	90	3,351

○出張講座

学校等教育機関や公民館、各種団体から観察会やクラフト講座開催の要請を受け、職員を派遣しました。（詳細は資料1 - 3）

内 容	団体数	人数
出張講座	27	897

(3) 個人向け講座

家族や友人などで来館される方を対象に、事前の予約なしで受講できる体験講座等を開催しました。

内 容	人数 (延べ)
えさやり体験	21,559
3Dシアター	9,024
クイズラリー	7,778
野外体験講座(生きもの観察・海釣り等)	133
絵付け体験	22
貝殻クラフト	225
海の生きもの立体工作	306
海藻おしば	23
チリメンモンスターを探せ	23
海の万華鏡作り	546
うみのカケラをさがそう	463
海藻ハーバリウム作り(4~6月)	127
ビーチクラフトキット	549
みつろうラップ	22
流木クラフト(ビーチクロック)	350
人魚の涙ストラップ	101
合 計	41,251

4 指導者の養成

(1) 指導者養成講座

内容	期日	場所	講師	人数
スノーケリング指導者養成講座 ①入門コース	6月 15日(土)	食見海岸・センター	前田 和代・渡邊 幸太 (一般社団法人うみから)	12
スノーケリング指導者養成講座 ②スキルアップコース	6月 22・23日 (土・日)	食見海岸・センター	須藤 龍之介 白井 芳弘(あわしまマリンパーク飼 育顧問) 須崎 善郎(ネイチャーガイド海童)	22

IV 特別企画

ビジターセンターとしての機能を発揮するため、来館者の増加や利用促進を目的とした特別企画を開催しました。特別企画では、センターの主催事業や出張講座の紹介、魚つかみやふるまい等の海や湖に親しむことができる体験イベントを企画しました。

1 特別企画

(1) 25周年記念 海の日イベント

- ① 日 時 令和6年7月14日(日)・15日(月祝) 各日9:00～16:00
- ② 場 所 海浜自然センターおよび食見海岸
- ③ 内 容 乗船体験、鯛つかみ、アサリつかみ、磯の生きもの観察、チリメンモンスター、みんなで磯を作ろう(磯の生きもの塗り絵)、〇×クイズ大会等
- ④ 来館者 5,651人(7月14日(日)3,045人、7月15日(月祝)2,606人)
- ⑤ 展 示 「三方海域公園活動記録展」を開催
第1弾「スノーケル調査で三方海域公園の魚類相の変化を見る&福井のウミガメ」
第2弾「海浜自然センター付近で見つかった珍しい生きものの写真展」



アサリつかみ



磯の生きもの観察



チリメンモンスター



みんなで磯を作ろう
(磯の生きもの塗り絵)

(2) 25周年記念事業 くらべてみよう 三方五湖のさかなたち

- ① 日 時 令和7年3月1日(土)・2日(日) 各日9:00~16:00
- ② 場 所 海浜自然センター
- ③ 内 容 企画展示「くらべてみよう 三方五湖のさかなたち」
講演「三方五湖の淡水魚よもやまばなし」松田隆喜
講演「三方五湖のいきものと環境をのぞいてみよう」富永修
顕微鏡観察by福井県立大学遊狩漁部、
クラゲの餌やり体験、お魚キーホルダー製作、
お魚〇×クイズ、軽石チャレンジ
- ④ 来館者 1,605人(3月1日(土) 576人、3月2日(日) 1,029人)
- ⑤ 展 示 「くらべてみよう 三方五湖のさかなたち」を開催



企画展「くらべてみよう三方五湖のさかなたち」



淡水のお魚キーホルダー作り



くらげの餌やり体験



顕微鏡観察(魚のうろこなど)

2 ミニイベント

(1) クリスマス

- ① 日 時 令和6年12月14日（土）・15日（日） 各日10:00～16:00
- ② 場 所 海浜自然センター
- ③ 内 容 チリメンモンスター（クリスマスヴァージョン）
○×クイズ
- ④ 来館者 640人（12月2日（土）264人、12月3日（日）376人）

(2) 冬

- ① 日 時 令和7年1月11日（土）・12日（日） 各日10:00～16:00
- ② 場 所 海浜自然センター
- ③ 内 容 いか墨で書き初めをしよう
おさかなしおりづくり
- ④ 来館者 556人（1月11日（土）142人、1月12日（日）414人）

(3) 節分イベント

- ① 日 時 令和7年2月1日（土）・2日（日） 各日10:00～16:00
- ② 場 所 海浜自然センター
- ③ 内 容 鬼のお面作り、○×クイズ
- ④ 来館者 789人（2月1日（土）359人、2月2日（日）430人）

V 調査研究事業

1 食見地区周辺海域調査

(1) 趣 旨

センターが位置する世久見湾南部は、福井県では唯一の海域公園（三方海域公園）に指定されており、これらの海域の自然環境の把握に努めるための調査を実施しています。

(2) 期 間

海水温測定：通年

生物相調査：令和6年10月2日

魚類相調査：令和6年4月12日、5月4日、10日、31日、
6月8日、11日、18日、29日、
7月6日、7日、10日、23日、29日、
8月4日、6日、27日、9月11日、14日、
10月26日、11月2日、10日、20日

(3) 結 果

資料2

(4) ウミガメの漂着および混獲状況

資料2

2 三方五湖周辺における自然保護活動

(1) 趣 旨

三方五湖は、福井県若狭町および美浜町にまたがる5つの湖の総称であり、平成17年11月、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に基づく登録湿地に指定されました。当センターでは、三方五湖および三方五湖水系の自然環境の把握に努めるための調査を実施しています。

(2) 期 間

地域水田を利用した魚の育成：令和6年4月1日～5月16日

外来生物の捕獲：令和6年4月26日～10月11日

はず川サケ遡上調査：令和6年10月22日～12月7日

(3) 結 果

資料3

3 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査

(1) 趣 旨

若狭町の水田では、無農薬でのお米作りやたんぼの生き物の育成のために、冬季の水田に水を張る「ふゆみずたんぼ」による稲作が行われています。特に、三方湖の南に位置する鳥浜地区を中心とした水田では、この「ふゆみずたんぼ」を好むハクチョウ類が越冬し、三方五湖の冬の風物詩に欠かせませ

ん。

そこで海浜自然センターでは、この「ふゆみずたんぼ」の効果を検証するため、飛来したハクチョウ類の個体数を調査しています。

(2) 期 間

令和6年11月26日～令和7年2月15日

(3) 結 果

資料4

VI その他

1 運営会議の開催

センターのより一層の活用を図るための運営会議を開催しました。

開催日時 令和7年1月23日（木） 14:00～16:00

令和6年度 福井県海浜自然センター運営会議委員

関係分野	氏 名	所 属 等
海洋生物	神谷 充伸	東京海洋大学海洋環境科学部門教授
	鈴木 聖子	(一社) 福井県漁業リース事業協会事務局長
鳥 類	武田 真澄美	日本野鳥の会福井県事務局次長
学校教育	谷保 裕子	若狭町立三方小学校教諭
スノーケリング	西野 ひかる	小浜市海のゆりかごを育む会事務局長
	小林 暁美	福井県スノーケリングリーダー
地域連携	竹越 聡	(一社) 若狭三方五湖観光協会会長
	田辺 喜代春	鳥浜漁業協同組合代表理事組合長
行 政	玉井 茂博	国立若狭湾青少年自然の家所長
	松宮 登志次	若狭町歴史文化課長

Ⅶ 資 料

【資料1-1】 団体向け講座 団体・講座一覧

月日	団 体 名	内 容	参加数
5月 8日	福井県立大学	海湖の環境と生きものの話	27
5月 17日	岐阜県瑞浪市坂下中学校	えさやり	42
5月 18日	敦賀市野坂の郷	えさやり	2
5月 28日	大野市上庄小学校	ビーチクラフト	20
		クイズラリー	20
		海湖の環境と生きものの話	22
5月 30日	岐阜県多治見市南姫中学校	人工イクラ	33
		海湖の環境と生きものの話	38
		クイズラリー	38
6月 11日	嶺南東特別支援学校小学部	お魚キーホルダー	18
6月 18日	小浜市そらのとりこども園	ととばっぐ	33
		クイズラリー	33
6月 20日	大野市有終西小学校	磯の生きもの観察	22
		クイズラリー	22
6月 25日	小浜市そらのとりこども園	ととばっぐ	36
		クイズラリー	36
6月 26日	岐阜県多治見市南ヶ丘中学校	人工イクラ作り	78
		クイズラリー	78
	岐阜県明宝中学校	クイズラリー	14
6月 27日	大野市富田小学校	ウェット磯観察	20
		クイズラリー	20
6月 28日	鯖江市北中山小学校	クイズラリー	17
	岐阜県関市津保川小学校	クイズラリー	28
7月 2日	Hong Kong Bishop Hall Jubilee School	海湖の環境と生きものの話	44
		クイズラリー	44
7月 3日	岐阜県多治見市小泉中学校	クイズラリー	135
7月 4日	福井市美山地区連合小学校	磯の生きもの観察	39
		クイズラリー	39
		えさやり	39
7月 9日	岐阜県聖徳大学附属中学	ビーチクラフト	49
		クイズラリー	49

7月10日	福井大学工学部	スノーケリング	4
		海湖の環境と生きものの話	4
7月11日	若狭町梅の里小学校	えさやり	19
		クイズラリー	19
7月20日	普現流空手道	えさやり	15
		クイズラリー	60
7月22日	武生高等学校	磯の生きもの観察	29
		プランクトン観察	29
7月23日	普現流空手道	えさやり	17
		クイズラリー	17
7月24日	鯖江市いずみ保育園 こぐまクラブ	チリメンモンスター	22
		クイズラリー	22
		海湖の環境と生きものの話	22
7月25日	岐阜県立恵那高等学校	ウェット磯観察	37
		プランクトン観察	37
		海湖の環境と生きものの話	37
7月26日	岐阜県立恵那高等学校	ウェット磯観察	40
		プランクトン観察	40
		海湖の環境と生きものの話	40
7月29日	海と日本プロジェクト	海湖の環境と生きものの話	35
7月31日	仁愛女子高等学校	ウェット磯観察	15
		海湖の環境と生きものの話	15
8月3日	若狭町子ども育成連合会	えさやり	10
8月4日	兵庫県少林寺拳法尼崎西部道院 拳友会	えさやり	25
8月6日	津島スポーツクラブホワイトウィ ングズ	クイズラリー	30
	ファイブスポーツクラブ	クイズラリー	35
8月19日	岐阜県岐山高等学校	磯の生きもの観察	33
		海湖の環境と生きものの話	33
8月22日	石川県代っち代表	ビーチクラフト	23
		クイズラリー	25
		えさやり	23
8月23日	若狭町三宅小学校	磯の生きもの観察	15
		クイズラリー	15
8月28日	大学生エコラーニング	海湖の環境と生きものの話	38

9月 6日	岐阜県養老町高田中学校	クイズラリー	108
9月 22日	わくわく体験塾	イカや魚の解剖調理	22
		クイズラリー	24
9月 26日	岐阜県八幡西中学校	ビーチクラフト	21
10月 1日	敦賀市さみどり幼稚園	海湖の環境と生きものの話	16
10月 11日	おおい町本郷小学校	チリメンモンスター	35
		えさやり	9
		クイズラリー	35
	勝山市成器西小学校	クイズラリー	51
10月 17日	敦賀市角鹿小学校	クイズラリー	42
10月 23日	美浜町美浜東小学校	人工イクラ	44
		海湖の環境と生きものの話	52
		クイズラリー	44
10月 25日	若狭町上中中学校	海湖の環境と生きものの話	8
10月 31日	敦賀市粟野保育園	えさやり	14
11月 6日	若狭町三方中学校	ビーチコーミング	66
11月 8日	福井市藤島中学校	ビーチコーミング	40
11月 21日	小浜市小浜中学校	海湖の環境と生きものの話	5
12月 5日	福井大学工学部	イカや魚の解剖調理	6
		海湖の生きもの・環境の話	6
12月 13日	敦賀市櫛川保育園	えさやり	23
2月 20日	小浜市加斗保育園	えさやり	6
2月 27日	敦賀市松陵幼稚園	ととばっぐ	22
3月 8日	高槻市都市交流協会	人工イクラ	20
3月 23日	愛知県(株)高原鉄工所	クイズラリー	11
合計 89 団体 2,745 人			

【資料1-2】 3Dシアターと館内見学 団体一覧

月 日	団 体 名	参加数	月 日	団 体 名	参加数
5月8日	敦賀市第2溪山荘ぼっぼ	10	7月11日	若狭町梅の里小学校	24
	福井県立大学	27	7月19日	ディサービスセンターいずみ	10
5月9日	岐阜大学教育学部 附属小中学校	113	7月20日	普現流空手道	60
5月11日	川瀬子ども会	12	7月22日	武生高等学校	29
5月17日	岐阜県犬山市東部中学校	49	7月23日	普現流空手道	60
	岐阜県瑞浪市坂下中学校	46	7月24日	鯖江市いずみ保育園 こぐまクラブ	25
5月18日	敦賀市野坂の郷	14	7月25日	岐阜県立恵那高等学校	45
5月23日	岐阜県多治見市多治見中学校	180	7月26日	岐阜県立恵那高等学校	43
5月28日	大野市上庄小学校	23	7月28日	京都府桃山高等学校	40
5月30日	岐阜県多治見市南姫中学校	38	7月29日	海と日本プロジェクト	35
	敦賀市教会幼稚園	40	7月31日	仁愛女子高等学校	15
5月31日	岐阜県中津川市第一中学校	91	8月2日	若狭町梅の里保育園 子育て支援センター	10
6月6日	岐阜県岐阜市藍川東中学校	58	8月3日	若狭町子ども育成連合会	56
6月11日	嶺南東特別支援学校小学部	36	8月4日	兵庫県少林寺拳法尼崎西武道院 拳友会	30
6月13日	若狭町社協ディサービスセンタ ーいずみ	11	8月6日	津島スポーツクラブ ホワイトウィングズ	40
	岐阜県垂井町北中学校	71	8月6日	ファイブスポーツクラブ	43
6月18日	小浜市そらのとりこども園	36	8月19日	岐阜県岐山高等学校	36
6月20日	大野市有終西小学校	25	8月22日	石川県代っ子代表	25
6月25日	小浜市そらのとりこども園	36	8月23日	若狭町三宅小学校	18
6月26日	岐阜県多治見市南ヶ丘中学校	78	8月28日	大学生エコラーニング	38
	岐阜県郡上市明宝中学校	14	9月6日	岐阜県養老町高田中学校	108
6月27日	大野市富田小学校	20	9月11日	岐阜県可児市広陵中学校	98
6月28日	鯖江市北中山小学校	17	9月12日	岐阜県岐阜市青山中学校	133
	岐阜県関市津保川小学校	28		わくわく体験塾	28
7月2日	Hong Kong Bishop Hall Jubilee School	44	9月22日	北葛城第一団ボーイスカウト	87
7月3日	岐阜県多治見市小泉中学校	145	9月26日	岐阜県八幡西中学校	21
7月4日	福井市美山地区連合小学校	46	10月1日	敦賀市さみどり幼稚園	38
7月5日	カラオケふじこ	22	10月11日	おおい町本郷小学校	38
	オープンハウスクローバー	17		勝山市成器西小学校	57
7月9日	岐阜県聖徳大学附属中学校	55	10月17日	敦賀市角鹿小学校	42
7月10日	福井大学工学部	4		長寿会	22
		気楽会	25	10月23日	美浜町美浜東小学校

10月25日	若狭町上中中学校	8	12月17日	社会福祉法人足羽福祉会 足羽更生園	14
10月30日	敬仁会	30	1月22日	社会福祉法人足羽福祉会 足羽更生園	15
10月31日	敦賀市粟野保育園	43		若狭町三方中学校	3
	石川県片野鴨池周辺生態系 管理協議会	15	2月20日	小浜市加斗保育園	28
11月6日	若狭町三方中学校	66	2月27日	敦賀市松陵幼稚園	22
11月8日	福井市藤島中学校	40	3月8日	高槻市都市交流協会	20
11月10日	関西電力(株)京都支社	15	3月9日	大阪府自然保護環境保全協会	20
11月20日	NPO法人TSC	10	3月12日	社会福祉法人足羽福祉会 足羽更生園	16
	旅工房	28		小浜市はましん わくわくステーション	9
11月21日	小浜市小浜中学校	5	3月18日	敦賀市松原小学校	18
11月24日	あわら市コスモス会	20	3月22日	敦賀市こども発達支援 プラスアップ金山ルーム	12
12月5日	福井大学工学部	6		敦賀市こども発達支援 プラスアップ榎林ルーム	9
12月13日	敦賀市櫛川保育園	28	3月23日	愛知県(株)高原鉄工所	14
合計 90団体 3,351人					

【資料1-3】 出張講座一覧

月 日	氏 名	演題または内容	場 所	依 頼 者	人 数
5月25日	別司愛津砂 小堀徳広 榊郷かおり	タッチプール	敦賀市こどもの国	敦賀市こどもの国	50
8月7日	別司愛津砂	プランクトン観察	福井県立大学	福井県立大学	5
8月27日	別司愛津砂 柘植卓実 小堀徳広	ビーチクラフト	越前市たかせ保育園	越前市たかせ学童	33
8月28日	別司愛津砂 榊郷かおり	ビーチクラフト	坂井市坂井中コミュニ ティセンター	坂井市坂井中コミュニ ティセンター	27
8月29日	別司愛津砂 榊郷かおり	万華鏡	越前市白山学童	越前市白山児童クラ ブ	36
9月8日	別司愛津砂 榊郷かおり	絵付け体験 海湖の生きものや環境の話	南越前町社会福祉協 議会	南越前町社会福祉協 議会	8
9月10日	別司愛津砂 小堀徳広	海湖の生きものや環境の話	若狭町みそみ小学校	若狭町みそみ小学校	17
9月18日	別司愛津砂 榊郷かおり	ビーチクラフト	越前市白山地区都の 会	越前市白山地区都の 会	9
9月19日	柘植卓実 小堀徳広	海湖の生きものや環境の話	若狭町みそみ小学校	若狭町みそみ小学校	15
9月21日	別司愛津砂 榊郷かおり	万華鏡 海湖の生きものや環境の話	福井市木田小学校	福井市木田小学校	14
9月25日	柘植卓実 小堀徳広	海湖の生きものや環境の話	小浜市加斗小学校	小浜市加斗小学校	11
10月5日	別司愛津砂 柘植卓実 岡本聡真	タッチプール	福井県立大学	福井県立大学	220
10月10日	別司愛津砂 小堀徳広 岡本聡真	タッチプール	敦賀市松原小学校	敦賀市松原小学校	70
10月17日	柘植卓実 小堀徳広 岡本聡真	タッチプール	小浜市中名田保育園	小浜市中名田保育園	11
10月20日	別司愛津砂 岡本聡真	タッチプール	若狭町パレア若狭	若狭町ハート&フェ スタ実行委員会	60
10月24日	別司愛津砂 柘植卓実 岡本聡真	タッチプール	敦賀市粟野南小学校	敦賀市粟野南小学校	90
11月1日	別司愛津砂 小堀徳広 岡本聡真	タッチプール	小浜市内外海保育園	小浜市内外海保育園	28
11月1日	別司愛津砂	海湖の生きものや環境の話	小浜市小浜第2中 学校	小浜市小浜第2中 学校	25
11月3日	別司愛津砂 岡本聡真	人工イクラ	美浜町なびあす	美浜町なびあす	6
11月7日	別司愛津砂 榊郷かおり 小堀徳広	ととばっぐ	三方青年の家	嶺南東特別支援学校 小学部	20
11月12日	別司愛津砂 小堀徳広 岡本聡真	絵皿	大野市富田公民館	大野市富田公民館	32
12月3日	別司愛津砂 榊郷かおり 岡本聡真	タッチプール 海湖のいきものや環境の話	小浜市介護センター みのり	小浜市介護センター みのり	40
12月24日	別司愛津砂 榊郷かおり 岡本聡真	ちりめんモンスター	敦賀市プラスアップ 金山	敦賀市プラスアップ 金山	9
12月24日	別司愛津砂 榊郷かおり 岡本聡真	ちりめんモンスター	敦賀市プラスアップ 櫛林	敦賀市プラスアップ 櫛林	8

2月13日	別司愛津砂 榊郷かおり 小堀徳広	海湖の生きものや環境の話	若狭町気山小学校	若狭町気山小学校	21
3月14日	別司愛津砂	ととばっぐ	小浜市コミュニティセンター	小浜市コミュニティセンター	21
3月15日	別司愛津砂 岡本聡真	ビーチクラフト	小浜市伏原公会堂	小浜市伏原子ども会	11
計 27団体 897人					

【資料2】

食見地区周辺海域調査

1 はじめに

海浜自然センターが位置する食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾南部にある。湾内の4箇所30.2haの海域は、すぐれた海中景観を有することから、福井県では唯一の海域公園（三方海域公園）に指定されている。これらの海域において継続的な調査により藻場や生物相の現状把握に努めることは、当該海域の環境保全および普及啓発を推進する上で重要といえる。そこで、当センターでは平成11年度から当該海域において生物相の調査を継続的に実施している。

2 調査内容と結果

(1)海水温測定

①調査地点および方法

センター地先船着き場内において、可能な限り毎日午前9時に表層から1m以浅で水温の測定を行った。

②結果

令和4年度～6年度の測定値の各月の平均値と平年値（令和元（平成31）年～令和5年度の5年平均）を図1に、令和元年度～6年度の測定値の各月の平均値と平年値を表1に示した。

令和6年度の水温は、夏季～秋季には平年値より最大2℃高く、冬季には平年値より低く推移した。

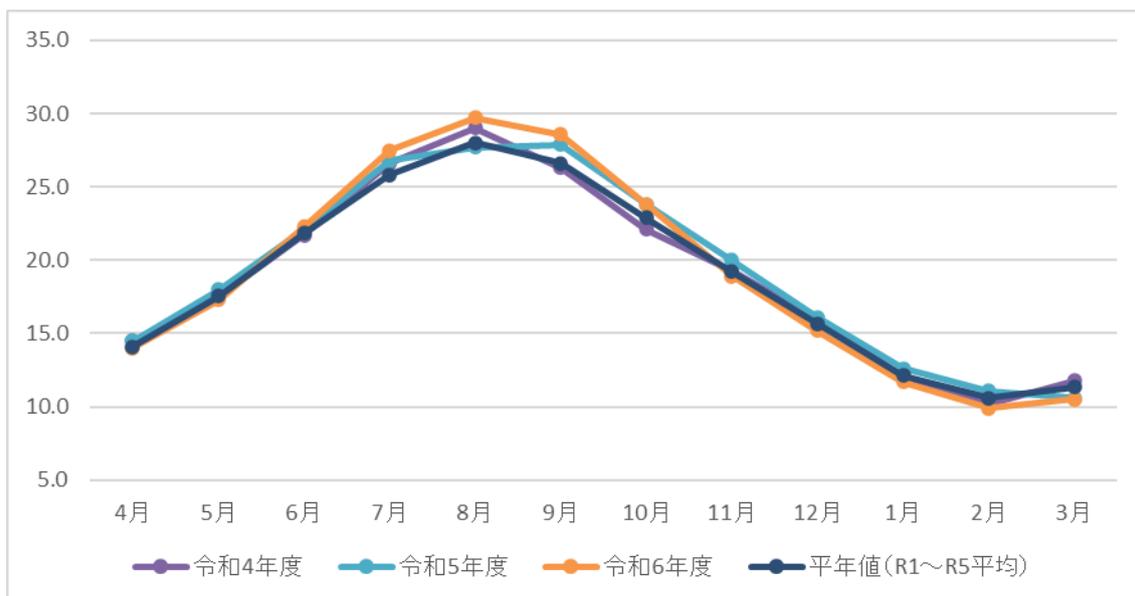


図1 センター前月別平均水温

表1 センター前月別平均水温

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元(平成31)年度	13.6	17.4	21.6	24.8	27.6	26.3	22.4	18.8	15.4	12.9	11.3	11.8
令和2年度	13.6	17.9	22.1	24.4	28.5	26.6	22.8	18.8	15.4	12.1	10.8	11.8
令和3年度	14.2	17	21.7	26.5	27.2	25.9	23.3	19.1	15.4	11.1	9.6	10.7
令和4年度	14.5	17.5	21.7	26.6	29.0	26.3	22.1	19.3	16.0	12.0	10.2	11.8
令和5年度	14.5	18.0	22.1	26.8	27.7	27.9	23.8	20.0	16.1	12.6	11.1	10.6
令和6年度	14.0	17.3	22.3	27.5	29.7	28.6	23.8	18.9	15.2	11.7	9.9	10.5
平年値(R1~R5平均)	14.1	17.6	21.8	25.8	28.0	26.6	22.9	19.2	15.7	12.1	10.6	11.3
平均差(平年値-R6)	▲0.1	▲0.3	0.5	1.7	1.7	2.0	0.9	▲0.3	▲0.5	▲0.4	▲0.7	▲0.8

※平年値は令和元(平成31)年~令和5年度の平均値、平均差は令和6年度の各月平均水温と平年値

(2)生物相調査

①調査地と方法

調査は、令和6年10月2日に世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道周辺海域において実施した。

3m四方のコドラートを調査地点(図2のSt.1)に設置し、スノーケリングによる目視観察によって、コドラート内に出現した無脊椎動物(軟体動物、甲殻類、棘皮動物、環形動物、刺胞動物)、魚類について記録した。目視観察は、3人で20分間行い、表2の基準にしたがって記録した。いずれの分類群についても微小な個体や岩の下、割れ目の奥などに隠れているものは調査対象から除外した。



図2 生物相調査場所

表2 記録方法

	分類群	記録方法
無脊椎動物	軟体動物(貝類、イカ類、タコ類)、甲殻類(エビ類、カニ類)、棘皮動物(ヒトデ類・ウニ類・ナマコ類・ウミシダ類)、環形動物(ケヤリムシ類)	1~9個体:- 10~19個体:+ 20個体以上:++
	刺胞動物(イソギンチャク類・クラゲ類)、海綿動物(カイメン類)	被度1%未満:- 被度1%以上:+
魚類	種類と個体数について記録する。 1個体:- 2~10個体:+ 11~50個体:++ 51個体以上:+++	

②結果

調査地の水深は、St.1が0.8-2m、St.2が1.2m、St.3が2-3.5mであった。底質は、St.1では砂利の中に転石が点在していた。St.2およびSt.3では巨礫が主体であった。確認された生物の種類は、無脊椎動物については、11目13科15種、魚類については、3目10科12種であった(表3、4)。

表3 生物相調査結果（無脊椎動物）

門	綱	目	科	種類	st 1	st 2	st 3
軟体動物	二枚貝	カキ	イタボガキ	イワガキ	++		-
		イタヤガイ	ウミギクガイ	チリボタン			-
	腹足	古腹足	サザエ	ウラウスガイ	+		-
				サザエ	-	-	-
				オオコシダカガンガラ		-	+
	盤足		ムカデガイ	オオヘビガイ			-
			スズメガイ	キクスズメ		++	
新腹足		アッキガイ	レイシガイ	+	-		
棘皮動物	ウニ	ホンウニ	ナガウニ	ムラサキウニ	++	++	-
	ヒトデ	アカヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ	-		
	ウミユリ	ウミシダ	クシウミシダ	ニッポンウミシダ	-		
節足動物	六幼生	無柄目（フジツボ亜目）	不明	不明	++		
刺胞動物	花虫	イシサンゴ	キクメイシ	キクメイシモドキ		-	
環形動物	多毛		ケヤリムシ	ケヤリムシ	-		
			カンザシゴカイ	不明		-	
5	8	11	13	15	9	7	7

表4 生物相調査結果（脊椎動物）

門	綱	目	科	種類	st 1	st 2	st 3
脊索動物	条鰭 (硬骨魚)	スズキ	メジナ	メジナ	++		++
			ベラ	キュウセン	-		-
				ホンベラ	+	++	++
			スズメダイ	ソラスズメ	-		
				オヤビッチャ			+
			アイゴ	アイゴ	+		++
			キンチャクダイ	キンチャクダイ	-		
			イソギンポ	ニジギンポ		-	-
			ヒメジ	ホウライヒメジ			-
			カゴカキダイ	カゴカキダイ			-
フグ	フグ	カワハギ	-	-	-		
トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	++		++		
1	1	3	10	12	8	3	10

(3)魚類相調査

①調査地と方法

本調査は、平成23年度より世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道周辺海域(図3の食見地区周辺海域)、海域公園地区4号に指定される黒崎半島の椎出から岡鶴地先にかけての海域(図3の黒崎半島周辺海域)および海域公園地区1号に指定される常神半島周辺海域(図3の常神半島周辺海域)において実施している。

今年度は、新たに千島(図3の千島周辺海域)を調査地に追加した。スノーケリングリーダーの協力により、令和6年4月から11月にかけて計22回、スノーケリングで目視により確認された魚種を記録した。調査時の水温と調査人数、調査場所については、表5に示した。



図3 魚類相調査地点

表 5 各調査日の水温、調査人数、調査場所

月日	センター前 水温 (°C)	調査人数	調査時間 (h)	調査場所	月日	センター前 水温 (°C)	調査人数	調査時間 (h)	調査場所
4月12日	13.0	3	2	食見海岸	7月23日	29.0	1	2	食見海岸
5月4日	17.8	1	1	食見海岸	7月29日	29.2	1	1	食見海岸
5月10日	15.7	2	1.5	食見海岸	8月4日	30.3	5	2	食見海岸
5月31日	19.3	3	1.5	食見海岸	8月6日	30.4	5	2	食見海岸
6月8日	20.0	9	2	鳥辺島	8月27日	29.1	1	2.75	食見海岸
6月11日	21.5	1	2	食見海岸	9月11日	28.3	3	1	食見海岸
6月18日	21.0	5	1	食見海岸	9月14日	29.3	1	1.5	食見海岸
6月29日	24.5	10	3	常神半島	10月26日	22.0	5	1.5	食見海岸
7月6日	26.0	5	2	鳥辺島	11月2日	21.0	3	1	食見海岸
7月7日	25.4	9	3	常神半島	11月10日	19.1	3	2	食見海岸
7月10日	27.3	2	1.5	食見海岸	11月20日	18.2	2	1.5	食見海岸

②結果

平成 23 年度から令和 6 年度までの調査結果を表 6 に示した。今年度の魚類の確認種数は、8 目 32 科 55 種であった。平成 23 年からの全確認種数は、12 目 44 科 81 種であった。

令和 6 年度は、ムラソイ、オニオコゼ、スイ、イソハゼ、クツワハゼ、トウゴロウイワシ、ドチザメの 7 種が新たに確認された (図 4~10)。これらの魚種は以前よりセンター周辺にて度々確認されていたが、本調査により確認したのは初である。

県内において南方系の魚種は、暖流に乗って散発的に確認されるものであるため、この記録を基にこれら魚種における分布域の拡大が生じているとみることはできないが、前述の海水温調査に示したとおり、食見地区周辺海域の水温は上昇傾向にあるため、今後、熱帯や亜熱帯域を分布の中心とする魚種の確認回数が増加していく可能性がある。このような魚種は当該海域の環境の変化を把握するうえで重要な指標となりうるため今後の出現状況に注目したい。

今後も本調査を継続して実施することによって、魚類相の知見を蓄積し、三方海域公園周辺の自然環境の把握に努めていく。



図4 ムラソイ



図5 オニオコゼ



図6 スイ



図7 イソハゼ



図8 クツワハゼ



図9 トウゴロウイワシ



図10 ドチザメ

(写真提供：図4～9 渡辺幸太 氏、図10 牧野啓司 氏)

(4)ウミガメの漂着および混獲状況

①目的

ウミガメ類の漂着や定置網への混獲状況等を記録することにより、日本海におけるウミガメ類の分布・回遊状況解明の一助とする。

②方法

平成 17 年度より沿海漁協へ調査表を配布し、混獲および漂着があった場合に報告を受ける体制を整えている。混獲・漂着したウミガメ類が発見された場合は、現地に赴き、種名、大きさ（甲長、甲幅）などを記録した。

③結果

令和 6 年度には、アオウミガメ 2 頭、アカウミガメ 2 頭の報告があった（表 7、図 1 1）。いずれも冬季に漂着したものであり、大半が死亡した状態で確認された。唯一、令和 7 年 3 月 19 日に確認したアオウミガメは、著しく衰弱していたものの漂着時には辛うじて生存していたが、翌日に死亡した。

ウミガメの回遊ルートについては不明な点も多く、今後も漂着および混獲等の情報を蓄積し、日本海における生態や回遊経路解明のための知見の蓄積が必要である。

表 7 ウミガメ類の混獲および漂着、目撃状況

	確認日	種類	発見場所・地点等		大きさ			標識の有無	備考
					甲長	甲幅	重量		
A	令和7年1月17日	アオウミガメ	美浜町松原地先海岸	漂着（死亡）	72cm	54cm	未計測	無	写真なし
B	令和7年3月13日	アカウミガメ	小浜市志積地先海岸	漂着（死亡）	96cm	72cm	未計測	無	
C	令和7年3月19日	アオウミガメ	小浜市青井地先海岸	漂着（保護後死亡）	47cm	41cm	未計測	無	保護翌日に死亡
D	令和7年3月21日	アカウミガメ	小浜市志積地先海岸	漂着（死亡）	90cm	70cm	未計測	無	

図 1 1 令和 6 年度に確認されたウミガメ類



B : アカウミガメ

C : アオウミガメ

D : アカウミガメ

【資料3】

三方五湖周辺における自然保護活動

1 はじめに

三方五湖は、福井県若狭町および美浜町にまたがる5つの湖の総称であり、平成17年11月、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に基づく登録湿地に指定された。平成23年には自然再生協議会が設立され、行政や研究者だけでなく、地域住民等の多様な主体により積極的な自然保護活動が行われている。当センターにおいては、これらの地域活動を支援するとともに、自然保護の普及啓発を推進するため様々な活動を継続的に実施している。

2 地域水田を利用した魚の育成

(1)目的・方法

三方五湖周辺の水田は、かつては湖にすむ魚にとって格好の産卵場であった。水田は、水が温かくエサとなるプランクトンが豊富であり、卵や泳ぐ力の弱い稚魚が流されにくく、外敵となる大型の生物も少ないため成育場所として適している。しかし近年では圃場整備が進み、水田と水路の高低差が大きくなり、産卵のために魚が遡上することができなくなっている。センターでは、同水系から採卵し、水田で育成する地域活動を支援することにより、他の地域からの移植放流のみに依存しない漁業の再生と地域固有系統の魚の持続的な利用を目指している。

4月上旬～5月中旬にかけてフナやコイの卵を得るため三方五湖周辺水域に人工産卵床を設置した。期間中、随時産卵状況を確認し、採卵後は通気した陸上水槽内で孵化するまで管理した。孵化後は同水系に隣接する水田や休耕田に收容し、少なくとも1ヶ月以上育成した後、中干し等の落水とともに三方五湖や三方五湖流入水路に放流した。生産量を把握するため放流時にネットを用いて育成魚を回収し、重量を測定した。また、平均体重により放流尾数を推定した。

(2)結果

令和6年度は4月1日から人工産卵床への卵の付着を確認した。その後、5月16日に至るまで採卵、卵管理、水田への收容を繰り返した。水田等に收容した仔魚は約15.7万尾（昨年約28.3万尾）であり、その後、育成した稚魚を5439尾（昨年約6.1万尾）放流した。

今年度は育成できた稚魚が著しく少なかった。7月ごろ、育成田に浮草が大量発生し表面を覆いつくしたため、生存が難しい環境になっていたと考えられる。



図1 産卵床（採卵の様子）



図2 育成田



図3 成長したフナ

3 外来生物の捕獲

(1) 目的・方法

三方五湖周辺域には複数の外来生物が確認されており、在来生物や自然環境への影響が懸念されている。当センターでは、平成26年度より外来生物の出現状況を把握するとともに、その影響を低減するため外来生物の捕獲・駆除を実施している。三方湖に接する若狭町世久津地区の水路に捕獲用ワナ（餌などの誘因物無し）を設置し、期間中、適宜中身を確認・回収した。

(2) 結果

令和6年度の活動結果を表1に示した。4月26日～10月11日までワナを10ヶ所に設置し、外来生物を捕獲した。期間中、49回ワナを回収した。

表1 外来生物の捕獲状況

種類	ウシガエル		アメリカザリガニ	ブルーギル	ミシシッピアカミミガメ	カムルチー	合計
	成体	幼体					
回収数	9	1	7	3	123	50	193

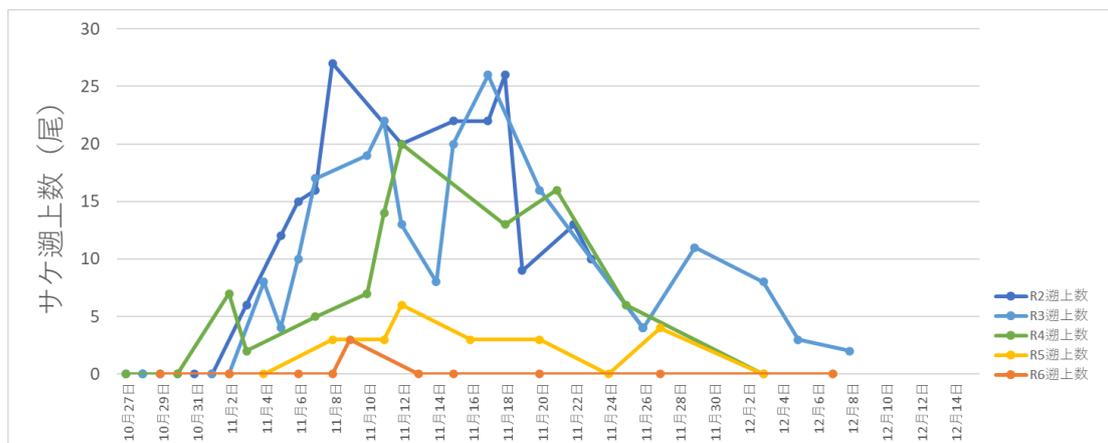
4 はす川サケ遡上調査

(1) 目的・方法

三方五湖に流入するはす川に遡上するサケの数を地点ごとに計数し、記録することで、はす川に遡上するサケの回遊状況を解明する一助とする。今年度の調査は令和6年10月22日より12月7日まで、若狭町はす川中流域（串子川合流地点から佐古橋までの間）に6つの定点を設け、目視により遡上するサケを観察し、観察された数を記録した。

(2) 結果

調査結果を図4に示す。令和6年度は11月9日に観察されたが、以降は見られなかった。遡上数は期間を通して少なく、昨年からの減少傾向が続いている。



【資料4】

ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査

1 調査の目的

平成 17(2005)年以前の三方五湖周辺では、11 月から 12 月にかけてコハクチョウの飛来が観察されることがあったが、滞在は一時的であり、越冬例は確認されていなかった。そこで、海浜自然センターでは、平成 18(2006)年秋に三方湖に近接する地区の農家に呼びかけ、ふゆみずたんぼの面積拡大に努めたところ、ふゆみずたんぼの面積が約 2ha に拡大した平成 18 年度から、越冬する群れが観察されるようになった（参考資料付図 4）。

その後は、冬季の水田に水を張る「ふゆみずたんぼ」が、無農薬のお米作りや田んぼの生き物の育成に効果を発揮するというメディア等での情報発信や、県や町による様々な営農支援により、「ふゆみずたんぼ」を試みる農家は次第に増加し、若狭町全体で平成 24(2012)年度には 36ha、平成 25(2013)年度には 25ha、平成 30(2018)年度には 28ha に達した。

とりわけ、三方湖の南に位置する向笠、鳥浜、田名地区の水田（図 1）では、この「ふゆみずたんぼ」を好むハクチョウ類が日中に休息、採餌し、夜間は三方湖や菅湖でねぐらを取る様子が、三方五湖の冬の風物詩のひとつになってきている。

そこで海浜自然センターでは、平成 18(2006)年度から、ハクチョウ類等の大型水鳥類の越冬環境にふゆみずたんぼが寄与する効果を検証するため、個体数調査を継続している。

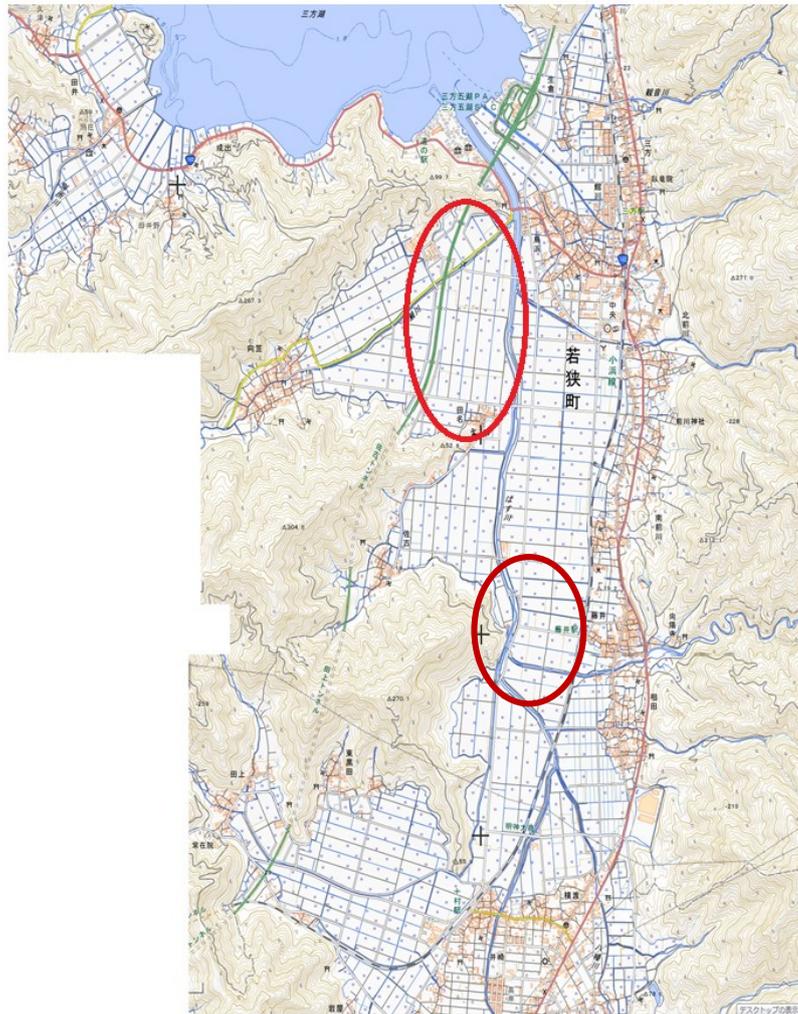
2 調査地と方法

調査地は、三方湖南部の鳥浜・田名集落に囲まれた水田に多くのハクチョウ類が見られたため調査地とした。（図 1 追跡調査票）。

調査期間は、令和 6 (2024)年 11 月 26 日から、令和 7(2025)年 2 月 15 日までの 92 日間に設定し、午前 8 時から 9 時にかけて毎日、さらに 9 時から 14 時にかけては随時、確認されたハクチョウ類の個体数を、8～12 倍の双眼鏡を用いて計数することとした。

また、鳥浜を中心に観測、ハクチョウ類がどのような環境の水田をどの程度利用しているのかということについて、環境と利用率の関係についての考察も継続的に行っている。

若狭町旧三方町地区におけるハクチョウ類の追跡調査票



調査日	(No.)		調査時間				
調査者			天候	晴	曇	雨	雪
時間	確認水田		行動	個体数			
	位置(筆番号)	耕作・二番穂・水量					
		耕:無、有;荒起・代播・ 穂: % cm 青草: % 水:全面湛水 水無 部分湛水; %	採餌:二番穂 稲の根元 青草 休息 他	コハク	成	幼	
		耕:無、有;荒起・代播・ 穂: % cm 青草: % 水:全面湛水 水無 部分湛水; %	採餌:二番穂 稲の根元 青草 休息 他	コハク	成	幼	オオハク 成 幼

図1 若狭町鳥浜～田名地区におけるハクチョウ類の追跡調査票

3 結果と考察

(1) 調査回数と出現率

調査は令和 6(2024)年 11 月 26 日から、令和 7(2025)年 2 月 25 日までの 92 日間調査した（実施率 1.00）。

ハクチョウ類が確認された場所は、鳥浜～田名で 41 日間（出現率 0.44）、藤井で 10 日間（出現率 0.10）確認した。これらの地域における種別の出現日数はコハクチョウが 48 日間（出現率 0.52）、オオハクチョウが 40 日間(出現率 0.43)であった。

(2) 初認および終認

今季の上記地区におけるハクチョウ類の初認は、コハクチョウは 11 月 26 日であった。平成 25(2013)年度が 11 月 15 日、平成 26(2014)年度が 12 月 8 日、平成 27(2015)年度が 12 月 7 日、平成 28(2016)年度が 12 月 3 日、平成 29(2017)年度が 12 月 2 日、平成 30(2018)年度は 12 月 11 日、令和元(2019)年度は 11 月 21 日、令和 2 (2020)度は 10 月 13 日、令和 3 (2021)度は 11 月 30 日、令和 4 (2022)度は 11 月 29 日、令和 5 (2023)は 12 月 16 日と年度によって差がある。

一方、終認はコハクチョウが 2 月 25 日であった。平成 25(2013)年度が 2 月 24 日、平成 26(2014)年度が 3 月 15 日、平成 27(2015)年度が 3 月 4 日、平成 28(2016)年度が 3 月 5 日、平成 29(2017)年度が 3 月 11 日、平成 30(2018)年度が 2 月 24 日、令和元(2019)年度が 2 月 11 日、令和 2 (2020)年度が 2 月 25 日、令和 3 (2021)度が 3 月 8 日、令和 4 (2022)度は 2 月 28 日、令和 5 (2023)度は 2 月 17 日とこちらも年度によって差がある。

今季、オオハクチョウの初認は 12 月 6 日で終認は 2 月 20 日だった。

(3) 飛来数

オオハクチョウの初認は 12 月 6 日で成長が 5 羽確認された。だが、12 月 7 日からは、全 4 羽が 2 月 20 日まで一部確認できない日もあったが、ほぼ継続的に確認された。オオハクチョウ 4 羽のうち、成鳥が 2 羽、幼鳥が 2 羽だった。成鳥と幼鳥の割合は終認まで同じだった。

コハクチョウの初認日は 11 月 26 日だった。少しずつ数が増えていき、12 月下旬には 70 羽前後になった。1 月中個体数は増減したが、2 月末にまた増え、100 羽確認できた日もあった。2 月中旬には、30 羽ほどになり 2 月 25 日が終認となった。

(4) 利用環境

①利用していた水田の特徴(表 1)

ハクチョウ類は平成 30 年度まで主に鳥浜の水田を利用していたが、昨年度は鳥浜から田名の水田を利用することが多かった。今年も、鳥浜から田名にかけて多くのハクチョウ類が見られた。同地区には、全面、部分灌水している水田があり、その水田の二番穂を餌としているためと考えられる。

表1 令和5(2023)年度にハクチョウ類が利用した水田の環境

位置 水田番号	利用頻度		耕起	湛水状況			植物の被度(目視)	
	回数	利用率(%)		全面	部分	なし	二番穂(%)	青草(%)
鳥浜	2	4.0	あり		○		0	0
田名	37	79.5	なし	○	○	○	0-100	0-100
藤井	10	20.4	なし	○		○	0-100	0-20
計	49							

※降雪のため判断不可(鳥浜～田名 3日、藤井 1日)有

②採餌環境(表2)

令和6(2024)年度は、ハクチョウ類が採餌に利用していた水田は耕起されていなかった。湛水していない水田の利用が主だった。これらの水田でハクチョウ類は稲株の根元を嘴で掘り、植物体を採餌していた。また、初認から終認近くまで稲の根本を採餌していた。二番穂も稲の根本より低い頻度で採餌していた。1月下旬頃から青草の利用も見られた。ハクチョウ類以外に、三方五湖は毎年約1万羽のカモ類が越冬しているが、ハクチョウ類とは逆に夜になると田んぼに飛来して二番穂を採餌する姿がよく見られる。こうした水鳥にとって、秋の稲刈り後に耕起せずそのままにしておくことは重要と考えられる。

表2 令和6(2024)年度にハクチョウ類が採餌時に利用した環境と餌種

①耕起		②湛水			③採餌メニュー		
あり	なし	全面	部分	なし	稲の根本	青草	二番穂
0回	17回	5回	7回	5回	14回	3回	4回
0	1	0.27	0.38	0.27	0.66	0.14	0.19

※湛水状況不明(降雪のため) 1回含む

これまでは、ハクチョウ類が休息していた水田は、(全面・部分)湛水していることが多かった。湛水した水田は見通しが良く、敵を見つけやすくてすぐ飛び立ちやすいためと考えられる。だが、令和6(2024)年度は、湛水していない水田での休息も多く見られた。

表3 令和6(2024)年度にハクチョウ類が休息時に利用した環境

全面湛水	部分湛水	湛水なし
14回	25回	1回
0.31	0.56	0.02

※湛水状態不明(積雪のため) 4回含む

(4) 三方五湖周辺におけるハクチョウ類の一般的な行動生態

ハクチョウ類はこれまでの調査で、三方湖や菅湖でねぐらを取ることが確認されている。朝、湖面を飛び立ったハクチョウ類が、調査を行った水田に移動する姿が何度も目撃されている。この水田では採餌・休息を行い、夕方ねぐらへ戻っていく。

若狭町内は三方五湖周辺に多くの水田が存在するが、調査場所以外での目撃はほとんどなく、ふゆみずたんぼとその周辺の水田を好んで利用していることから、これらの環境がハクチョウ類の越冬に欠かせないものと考えられる。

また、水田にいるハクチョウ類は遠くからもよく見え、地域住民や通りがかりの人が

見に来ることがよくあるが、近付き過ぎることなく見守っていて、ハクチョウ類との良好な関係が保たれている。

今後も継続して調査を行い、ふゆみずたんぼがハクチョウ類に寄与する効果を検証していきたい。

令和 5 (2023) 年度は、コハクチョウ、オオハクチョウに混じってマガンを数羽を継続的に確認することができた。令和 6 (2024) 年度は、2月 8 日の探鳥会では、コハクチョウ、オオハクチョウに混じってオオヒシクイが 1 羽採餌しているのも観察された。コハクチョウ類以外の野鳥もふゆみずたんぼを利用していると考えられる。ハクチョウ類以外の利用についても検証していきたい。



図 2 二番穂を採餌するコハクチョウ(左)・休息するコハクチョウ(右) (R1.11.24 鳥浜)

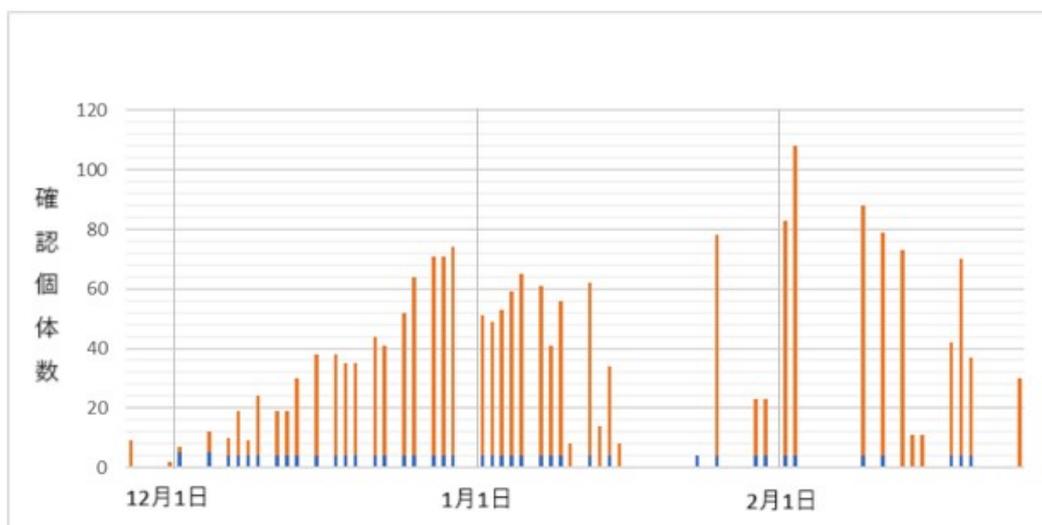
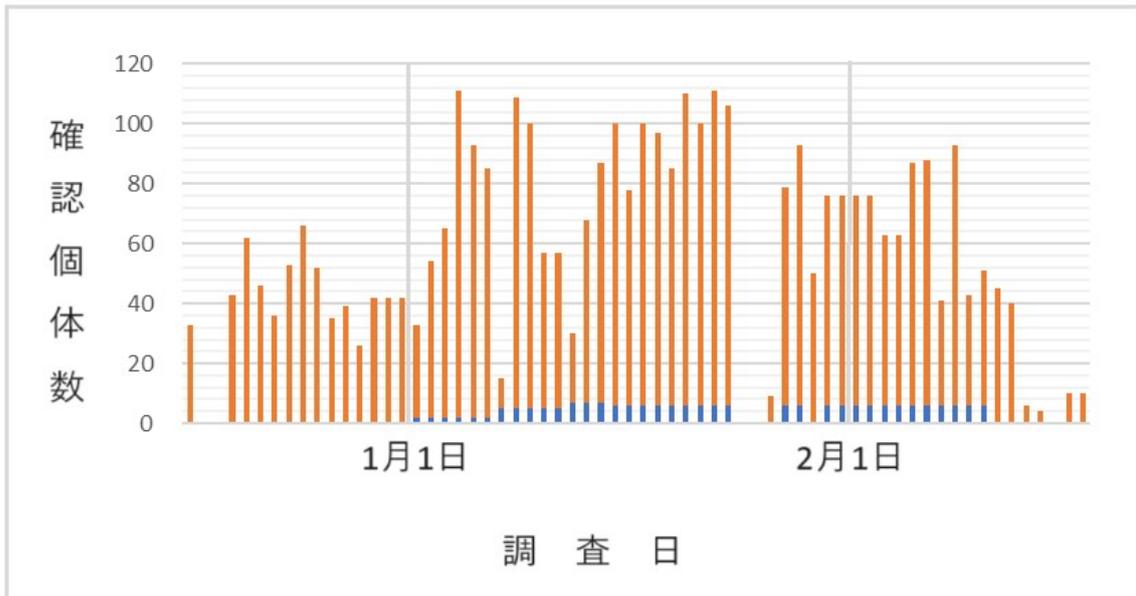
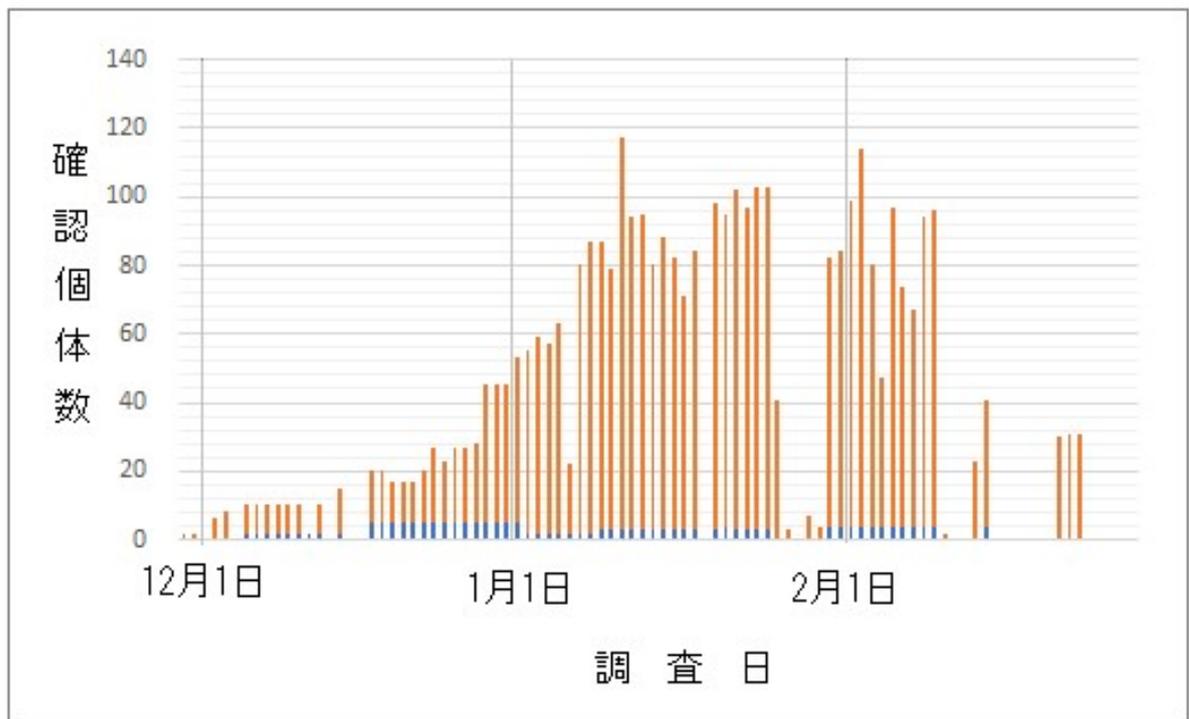


図 3 令和 6 (2024) 年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：オオハクチョウ)

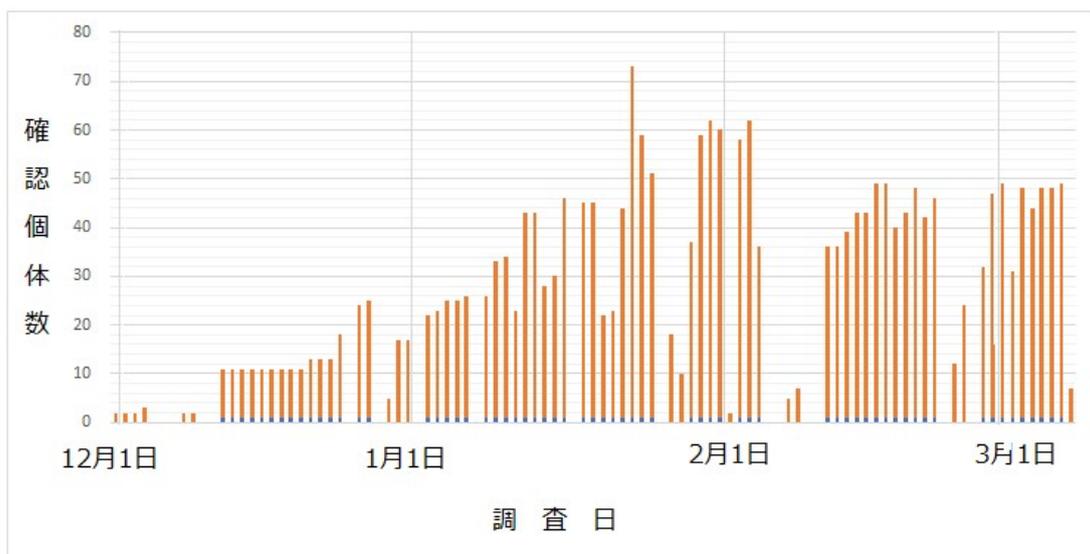
<参考資料：過去のハクチョウ類の飛来状況>



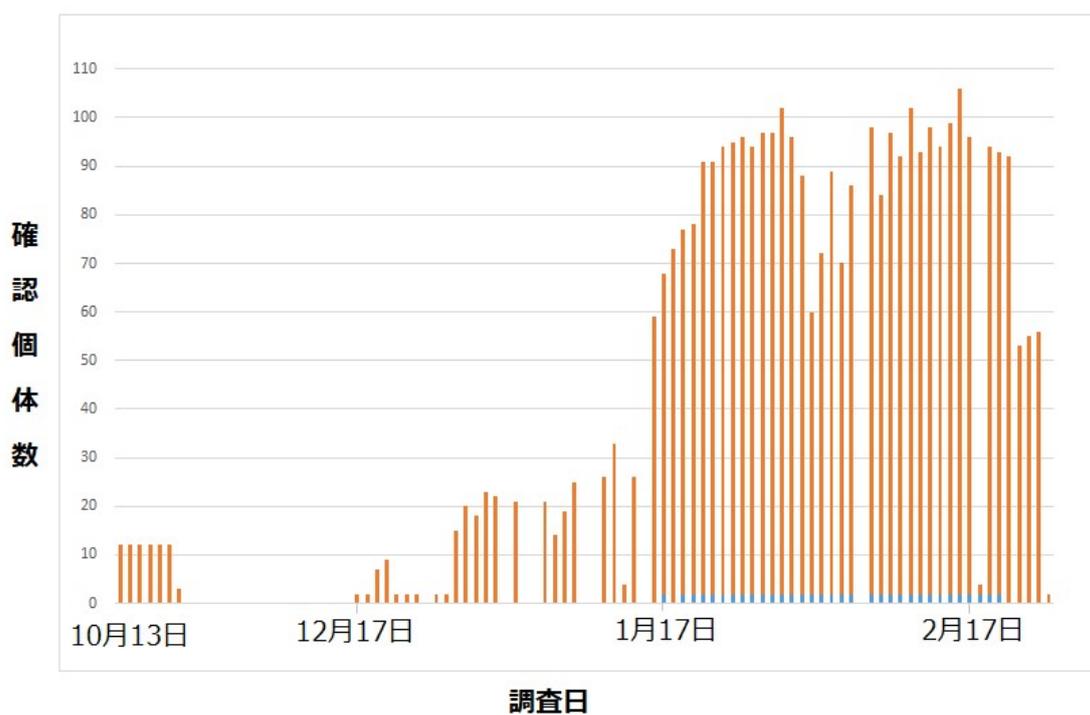
参考図1 令和5(2023)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：林ハクチョウ)



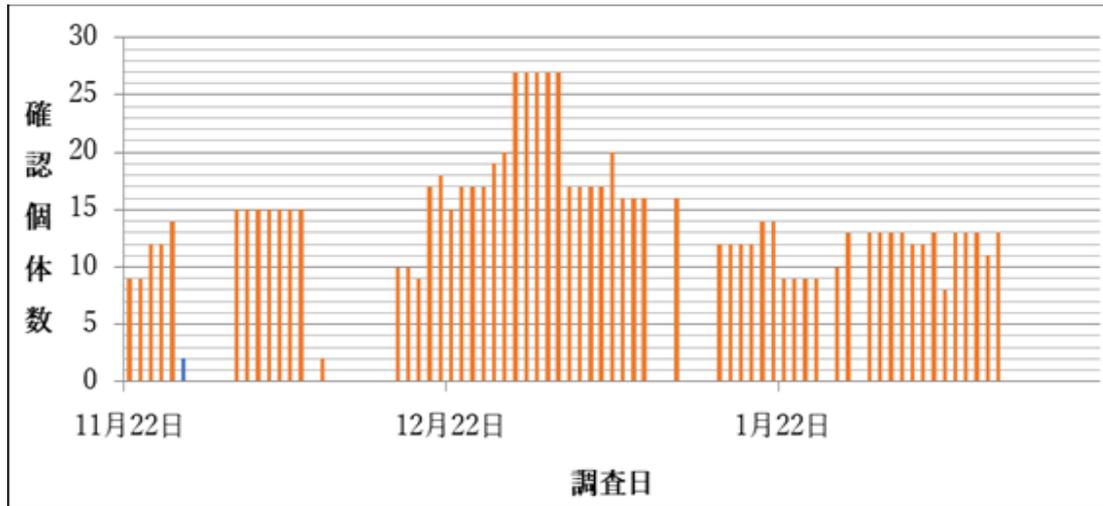
参考図2 令和4(2022)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：林ハクチョウ)



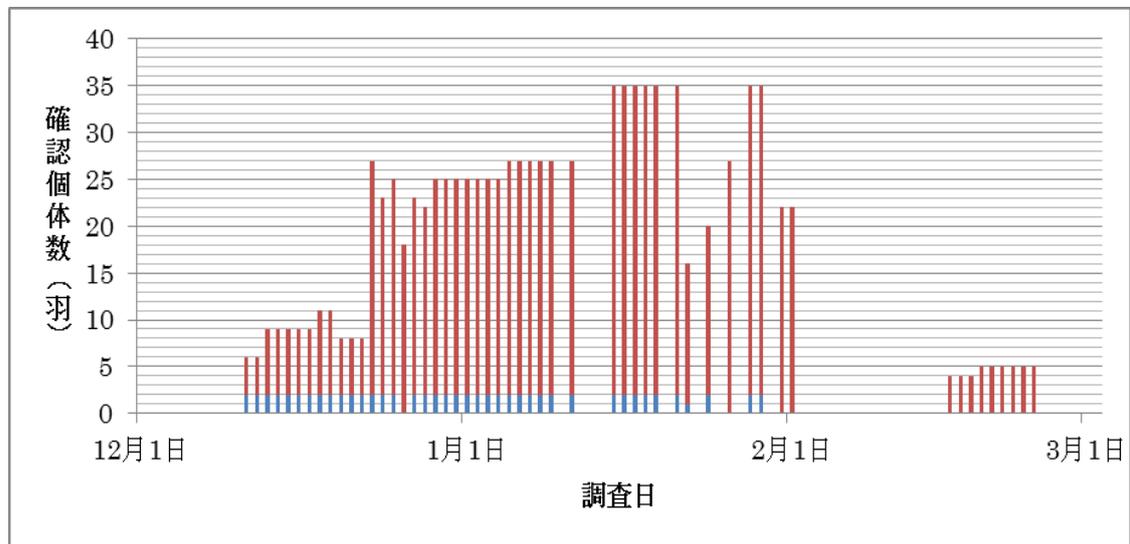
参考図3 令和3(2021)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：材ハクチョウ)



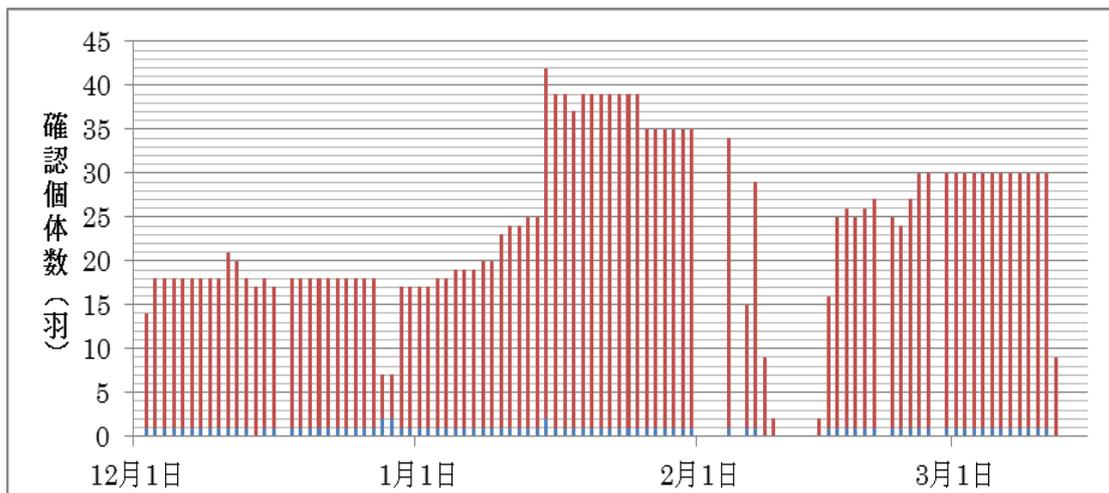
参考図4 令和2(2020)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：材ハクチョウ)



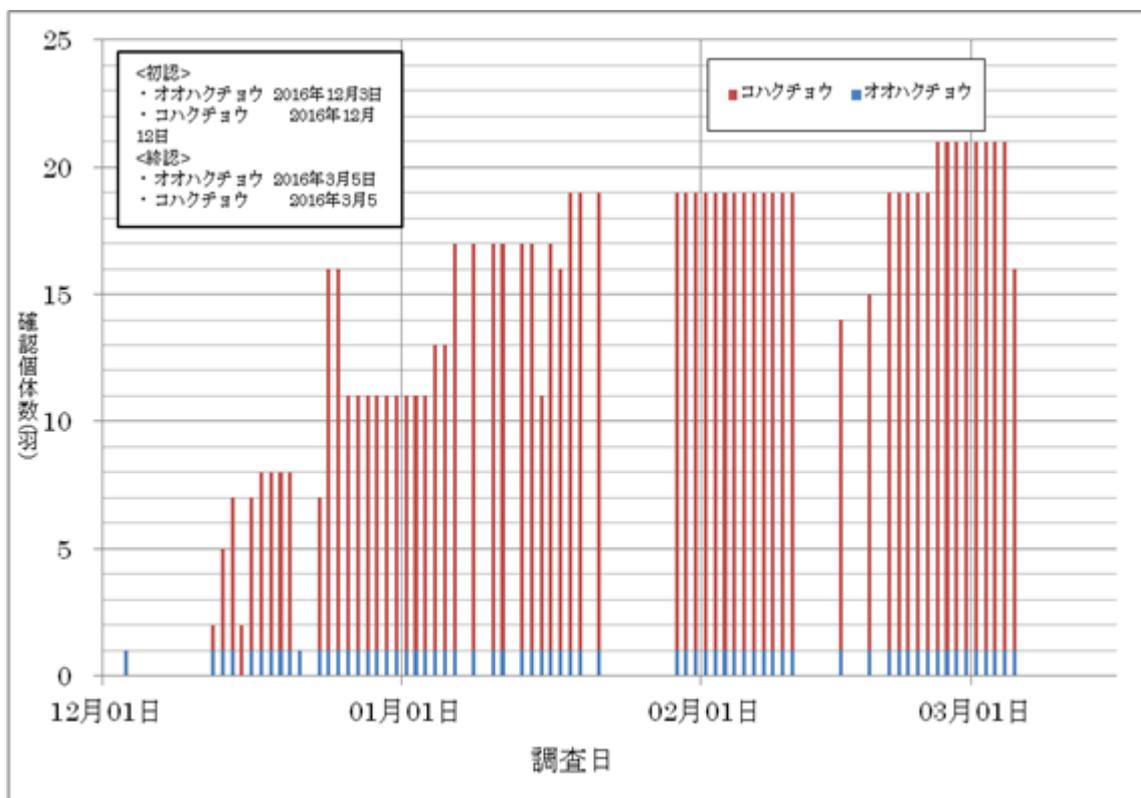
参考図5 令和元(2019)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：オオハクチョウ)



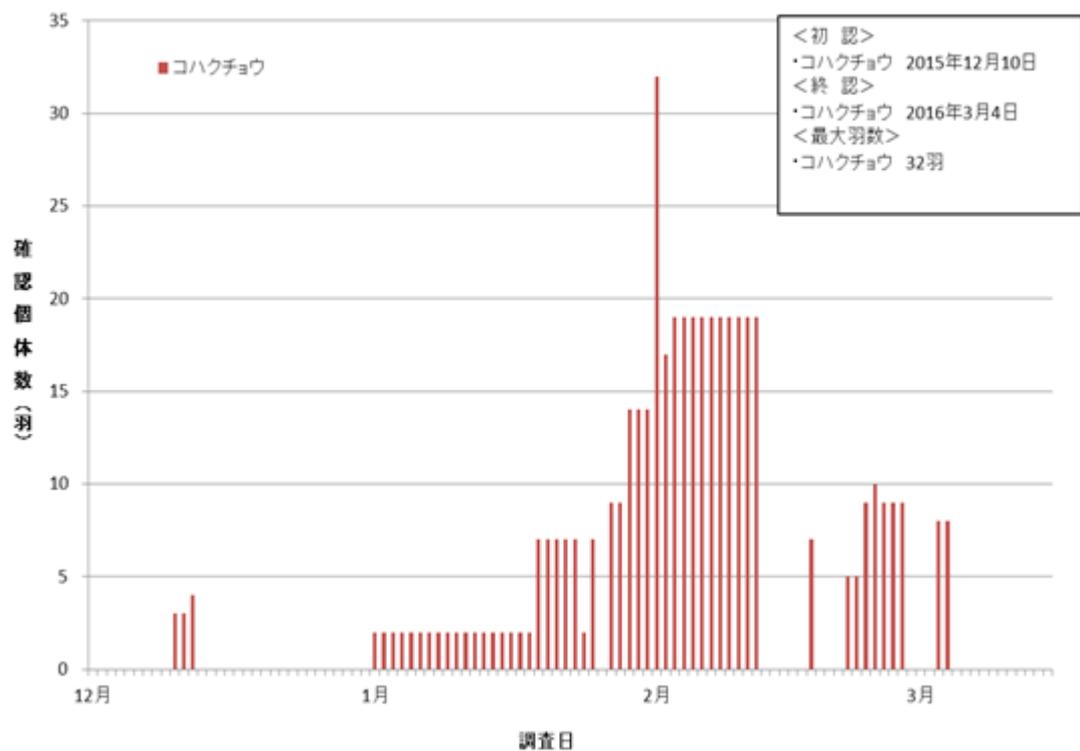
参考図6 平成30(2018)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：オオハクチョウ)



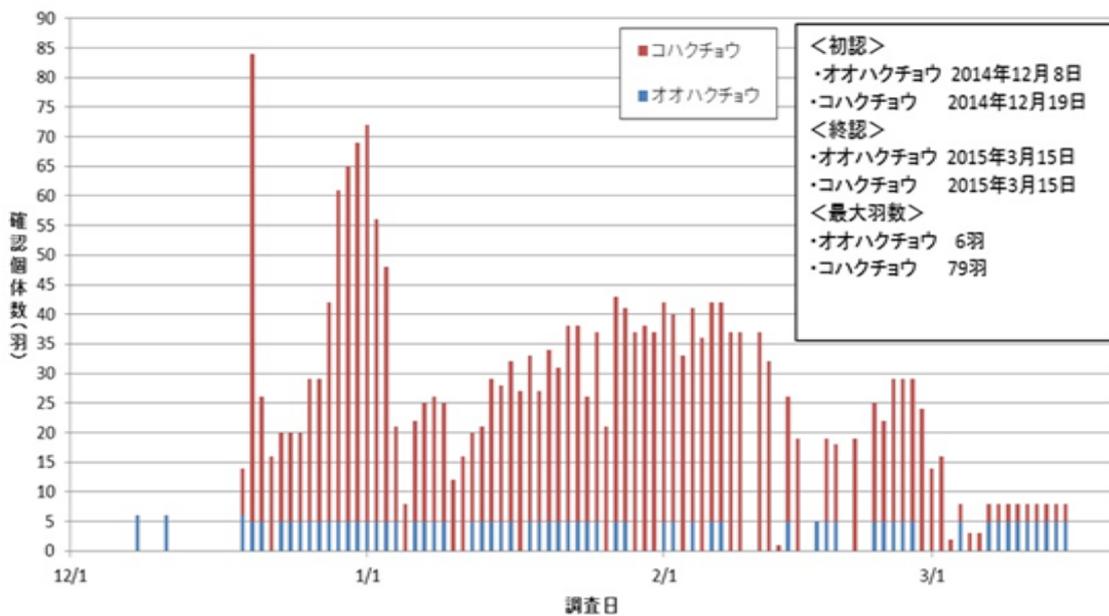
参考図7 平成 29(2017)年度のハクチョウ類の飛来状況(赤：コハクチョウ、青：オオハクチョウ)



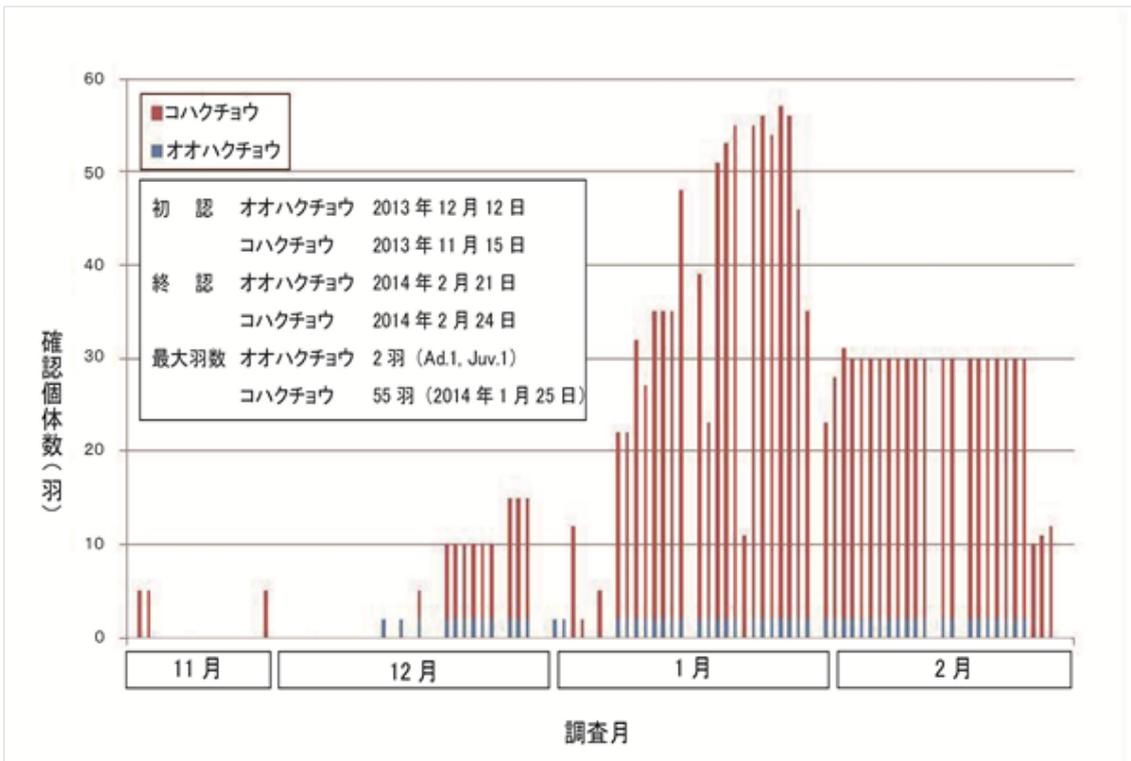
参考図8 平成 28(2016)年度のハクチョウ類の飛来状況



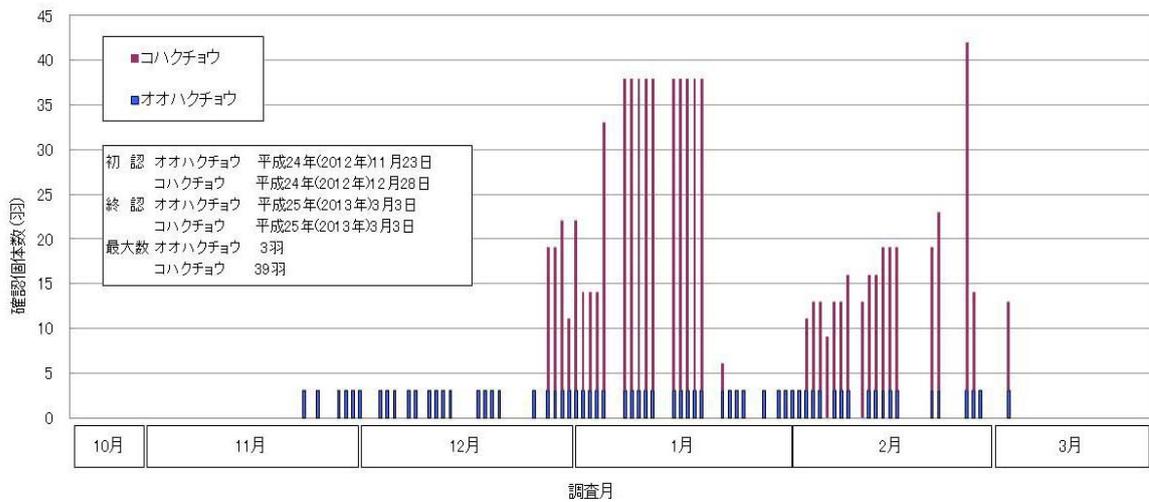
参考図9 平成27(2015)年度のハクチョウ類の飛来状況



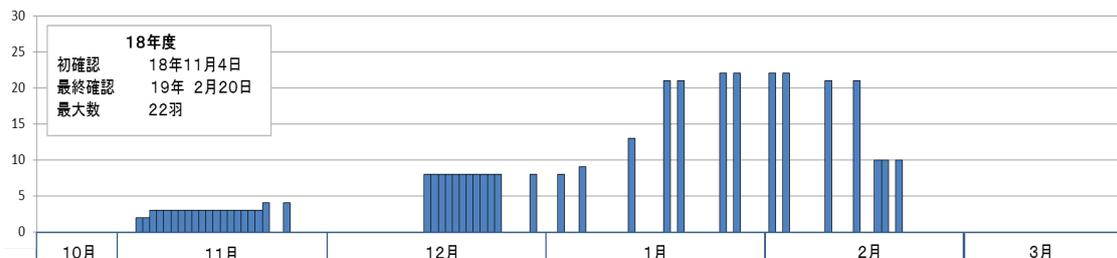
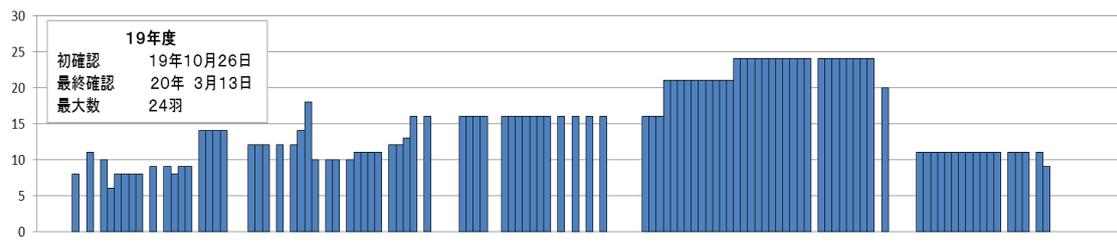
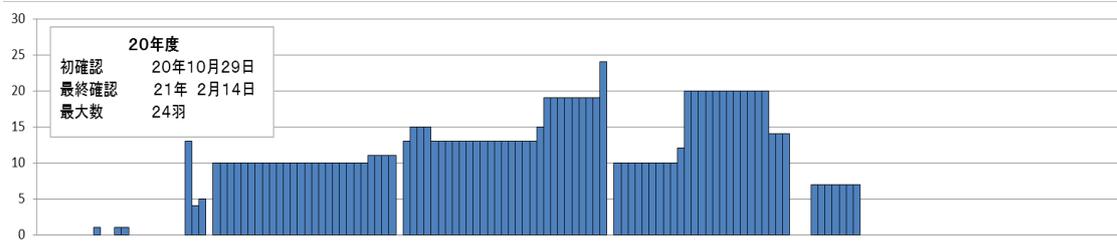
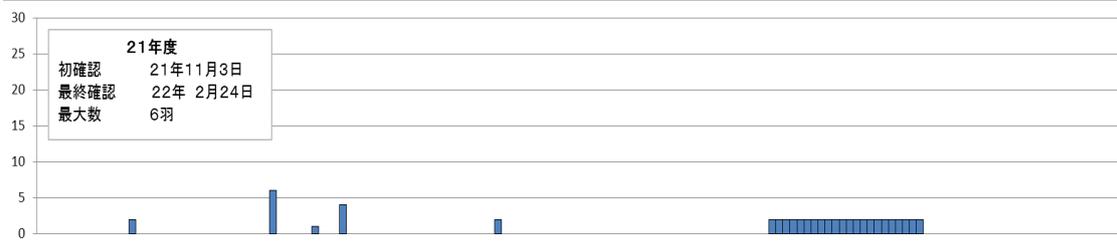
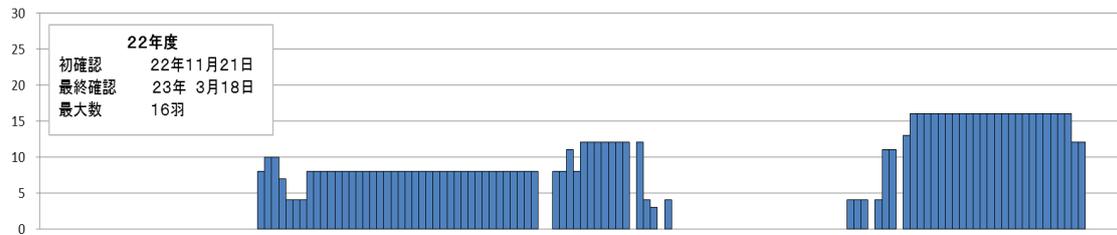
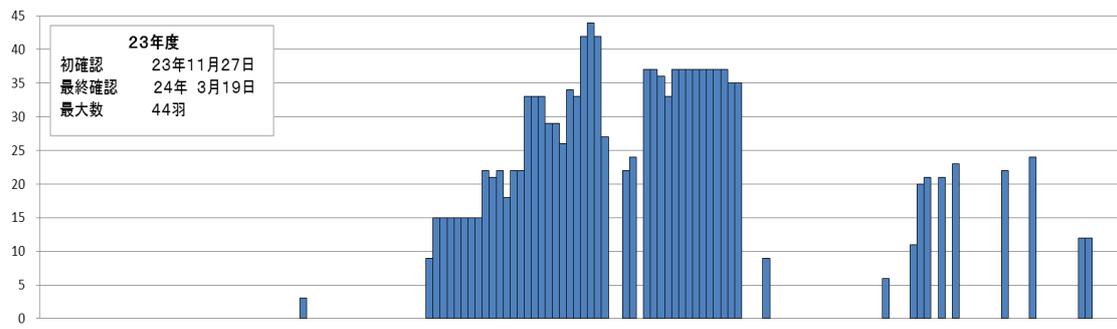
参考図10 平成26(2014)年度のハクチョウ類の飛来状況



参考図 1 1 平成 25 (2013) 年度のハクチョウ類の飛来状況



参考図 1 2 平成 24 (2012) 年度のハクチョウ類の飛来状況



参考図 1 3 平成 18~23(2006~2011)年度のハクチョウ類の飛来状況

【資料5】

夏期の車ナンバー調査

調査期間：令和6年7月13日～8月18日のうち、以下の13日間

7月 13日、27日、28日、

8月 3日、4日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日

順位	都道府県	台数	割合 (%)
1	福井	1,059	38.1
2	京都	413	14.9
3	滋賀	336	12.1
4	大阪	280	10.1
5	愛知	182	6.5
6	岐阜	144	5.2
7	兵庫	104	3.7
8	石川	45	1.6
9	奈良	42	1.5
	その他	174	6.3
	合計	2,779	100.0

